(様式第10)

金大第２０２１－８６４号
令和　　３年　９月２９日

厚生労働大臣　　殿

国立大学法人金沢大学長
山　崎　光　悦

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和2年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒920-1192　石川県金沢市角間町
氏　　名	国立大学法人金沢大学

(注)　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

国立大学法人金沢大学附属病院

3　所在の場所

〒920-8641
電話 (076) 265-2000
石川県金沢市宝町13番1号

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注)　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	㊟ ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 ①呼吸器内科　②消化器内科　③循環器内科　④腎臓内科 5神経内科　⑥血液内科　7内分泌内科　8代謝内科 9感染症内科　10アレルギー疾患内科またはアレルギー科　⑪リウマチ科	
診療実績 脳神経内科、内分泌・代謝内科	

(注) 1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	㊀・無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科　2消化器外科　③乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　⑥心臓血管外科　7内分泌外科　⑧小児外科	
診療実績 胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	

(注) 1　「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科　②小児科　③整形外科　④脳神経外科　⑤皮膚科　⑥泌尿器科　⑦産婦人科 8産科　9婦人科　⑩眼科　⑪耳鼻咽喉科　12放射線科　⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科　⑮麻酔科　⑯救急科

(注)　標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。

(4)歯科

歯科	㊀・無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科　2矯正歯科　③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。

2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科、2腫瘍内科、3腫瘍外科、4病理診断科、5リハビリテーション科

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
38床	床	床	床	792床	830床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種		員　数
医　師	397　人	133　人	490人	看護補助者	35　人	診療エックス線技師		0　人
歯科医師	11　人	10　人	18.3人	理学療法士	15　人	臨床検査	臨床検査技師	61　人
薬剤師	50　人	2　人	51.5人	作業療法士	7　人		衛生検査技師	2　人
保健師	0　人	0　人	0人	視能訓練士	12　人		そ　の　他	0　人
助産師	24　人	0　人	0人	義肢装具士	0　人	あん摩マッサージ指圧師		0　人
看護師	846　人	10　人	851.4人	臨床工学士	19　人	医療社会事業従事者		7　人
准看護師	0　人	0　人	0　人	栄　養　士	0　人	その他の技術員		17　人
歯科衛生士	2　人	0　人	0　人	歯科技工士	1　人	事務職員		141　人
管理栄養士	8　人	2　人	9.5　人	診療放射線技師	40　人	その他の職員		34　人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	65人	眼科専門医	12人
外科専門医	36人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	30人
小児科専門医	21人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	11人	整形外科専門医	22人
泌尿器科専門医	16人	麻酔科専門医	17人
産婦人科専門医	17人	救急科専門医	7人
		合　計	285人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　蒲田　敏文　　）　任命年月日　平成２８年４月１日

平成２８年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
１日当たり平均入院患者数	577.0人	6.2人	583.2人
１日当たり平均外来患者数	1,362.2人	65.6人	1,427.8人
１日当たり平均調剤数	1,161.8 剤		
必要医師数	140.2人		
必要歯科医師数	5.0人		
必要薬剤師数	21人		
必要（准）看護師数	340人		

（注)1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	462m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	病床数	22床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	［固定式の場合］ 床面積 347m²　病床数 27床 ［移動式の場合］ 台数 14台					
医薬品情報管理室	［専用室の場合］ 床積 73 m² ［共用室の場合］ 共用する室名					
化学検査室	523m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備） 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリート方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13CO2分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機、マルチカラーフローサイトメトリー			
細菌検査室	94m²	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備） 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置			

病理検査室	112m ^{2}	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備） 全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置	
病理解剖室	134m ^{2}	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備） 無影灯、解剖台、計量器	
研　究　室	752m ^{2}	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備） 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッティングシステム、オートクレーブ、クリーンベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト	
講　義　室	267m ^{2}	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数　1室	収容定員　300人
図　書　室	166m ^{2}	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数　2室	蔵 書 数　4,400冊

(注) 1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
　　 2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	８８．１％	逆　紹　介　率	９０．４　％
算出根拠	Ａ：紹　介　患　者　の　数	９，９５８人	
	Ｂ：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	１０，４８４人	
	Ｃ：救急用自動車によって搬入された患者の数	２５７人	
	Ｄ：初　診　の　患　者　の　数	１１，５９６人	

(注) 1　「紹介率」欄は、Ａ、Ｃの和をＤで除した数に 100 を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、ＢをＤで除した数に 100 を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
3　Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

2　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
伊藤　透	金沢医科大学病院	○	医療安全部として医療安全に関する業務に従事しているため	有・(無)	1
麻生　小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・(無)	1
和田　真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べることができるため	有・(無)	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1．医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2．医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3．その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 金沢大学附属病院 Web サイトに掲載している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
LDLアフェレシス療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数
腹腔鏡下センチネルﾘﾝﾊﾟ節生検	0人
ﾘﾂｷｼﾏﾌﾞ点滴注射後におけるﾐｺﾌｪﾉｰﾙ酸ﾓﾌｪﾁﾙ経口投与による寛解維持療法	0人
ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ塞栓症に対する血液浄化療法	0人
131I-MIBGを用いた内照射療法	0人
Ｓ－1内服投与、ｼｽﾌﾟﾗﾁﾝ静脈内投与及びﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ腹腔内投与の併用療法	0人
陽子線治療	0人
術後のｶﾍﾟｼﾀﾋﾞﾝ内服投与及びｵｷｻﾘﾌﾟﾗﾁﾝ静脈内投与の併用療法	1人
糞便微生物叢移植	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1　「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2　「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS－1内服併用療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1＋パクリタキセル経静脈･腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	58
2	筋萎縮性側索硬化症	7	57	特発性拡張型心筋症	26
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	20
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	17	60	再生不良性貧血	103
6	パーキンソン病	64	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	10
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	39
9	神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	17
11	重症筋無力症	84	66	IgA 腎症	24
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	13
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	52	68	黄色靱帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	11	69	後縦靱帯骨化症	52
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	86
17	多系統萎縮症	10	72	下垂体性ADH分泌異常症	15
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	16	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	3
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	19	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	66
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合	2
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	23	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	86
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	43
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	27
34	神経線維腫症	13	89	リンパ脈管筋腫症	5
35	天疱瘡	12	90	網膜色素変性症	10
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬（汎発型）	3	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	66
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	25	95	自己免疫性肝炎	28
41	巨細胞性動脈炎	7	96	クローン病	139
42	結節性多発動脈炎	18	97	潰瘍性大腸炎	134
43	顕微鏡的多発血管炎	20	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	13	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	6	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	280	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	139	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	347	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	42	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	60	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	20	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	26	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	25
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頚部顔面病変)	0
231	α1ーアンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頚部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	22
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	7

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β－ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	1
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	6
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	1
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0	329	無虹彩症	1
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	9
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0			

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・後発医薬品使用体制加算3
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)(7対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)(7対1)	・データ提出加算2のイ
・救急医療管理加算	・入退院支援加算1　入院時支援加算1あり 地域連携診療計画加算あり
・超急性期脳卒中加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・診療録管理体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	・特定集中治療室管理料2　早期離床・リハビリテーション加算あり 早期栄養介入管理加算あり
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・無菌治療室管理加算1. 2	2. 新生児集中治療室管理料
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神病棟入院時医学管理加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1　感染防止対策地域連携加算あり 抗菌薬適正使用支援加算あり	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・糖尿病合併症管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝学的検査
・がん患者指導管理料イ	・骨髄微小残存病変量測定
・がん患者指導管理料ロ	・BRCA1／2遺伝子検査
・がん患者指導管理料ハ	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来緩和ケア管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・移植後患者指導管理料	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・糖尿病透析予防指導管理料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・高度腎機能障害患者指導加算	・国際標準検査管理加算
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・遺伝カウンセリング加算
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・腎代替療法指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・院内トリアージ実施料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・ニコチン依存症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん治療連携計画策定料	・人工膵臓検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・皮下連続式グルコース測定
・薬剤管理指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・医療機器安全管理料1	・神経学的検査
・医療機器安全管理料2	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・黄斑局所網膜電図
・精神科退院時共同指導料2	・全視野精密網膜電図
・歯科治療総合医療管理料	・ロービジョン検査判断料
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・内服・点滴誘発試験	・静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
・センチネルリンパ節生検（片側）	・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・人工腎臓
・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合能力検査	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・画像診断管理加算3	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・遠隔画像診断	・ＣＡＤ／ＣＡＭ冠
・CT撮影及びMRI撮影	・歯科技工加算
・冠動脈ＣＴ撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）
・心臓ＭＲＩ撮影加算	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・乳房ＭＲＩ撮影加算	・組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
・小児鎮静下ＭＲＩ撮影加算	・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
・頭部ＭＲＩ撮影加算	・椎間板内酵素注入療法
・全身ＭＲＩ撮影加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・外来化学療法加算1	・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・連携充実加算	・角膜移植術（内皮移植加算）
・無菌製剤処理料	・羊膜移植術
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・人工中耳植込術
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）
・精神科作業療法	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・医療保護入院等診療料	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルﾘﾝﾊﾟ節加算1又は乳がんセンチネルﾘﾝﾊﾟ節加算2を算定する場合に限る。）	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下胃縮小術（ｽﾘｰﾌﾞ状切除によるもの）
・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る）	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・体外衝撃波胆石破砕術
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下肝切除術
・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	・生体部分肝移植術 ・同種死体肝移植術
・経皮的冠動脈形成術　（特殊ｶﾃｰﾃﾙによるもの）	・体外衝撃波膵石破砕術（一連につき）
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・経皮的カテーテル大動脈弁置換術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（ﾘｰﾄﾞﾚｽペースメーカー）	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術（経静脈電極の場合）	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
・植込型除細動器移植術（経静脈ﾘｰﾄﾞを用いるもの又は皮下植込型ﾘｰﾄﾞを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・同種死体腎移植術
・補助人工心臓	・生体腎移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下ﾘﾝﾊﾟ節群郭清術（傍大動脈）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・画像誘導密封小線源治療加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下膣式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）	
・胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）	
・医科点数表第2章第10部 手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。）	
・輸血管理料Ⅱ	
・コーディネート体制充実加算	
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料（Ⅰ）	
・麻酔管理料（Ⅱ）	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療（IMRT）	
・画像誘導放射線治療加算 （IGRT）	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・(2)(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1か月17回
剖検の状況	剖検症例数 27 例 ／ 剖検率 12.7 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
唾液ならびに口腔内細菌叢解析に基づく腎臓病の病態評価とバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	200,000	補委	日本学術振興会
リンパ管奇形に対する漢方薬による制御メカニズムの解明	小川 恵子	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞により制御される肝癌間質細胞社会の解明	山下 太郎	附属病院	4,500,000	補委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎における移植便中細菌の定着に関わる免疫機構の研究	北村 和哉	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
CD271陽性細胞の血管リモデリング制御機能の解析	高島 伸一郎	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
心房細動における心腎連関の機序解明	加藤 武史	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
難治性再生不良性貧血におけるトロンボポエチン受容体作動薬の効果反応予測因子の同定	山崎 宏人	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
MRSAの網羅的遺伝子情報を基としたバイオフィルム形成過程の病態解明	岩田 恭宜	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
内胸動脈周囲組織がグラフト血管内皮機能に与える影響に関する研究	飯野 賢治	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
人工呼吸中の患者とのコミュニケーション方法と精神ストレス指標の確立	佐藤 康次	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫幹細胞モデルにおけるmiR-34aの役割と治療ターゲットの可能性の解析	武内 章彦	附属病院	450,000	補委	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収の病態と発症原因の解明	大井 一浩	附属病院	780,000	補委	日本学術振興会
医師養成課程における臨床実習後客観的臨床能力試験の信頼性向上に関する研究	野村 英樹	附属病院	70,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫における制御性B細胞の役割および作用機序についての解析	小林 忠弘	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
有限要素法シミュレーションによるEVAR術後の長期的影響に関する流体力学的解明	濱口 隆史	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
便細菌叢移植による腸内細菌叢の変化	岡藤 啓史	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
難治疾患の肝VODにおけるTMA病態関与の解明と新規治療法の開発	中沼 伸一	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
加齢による薬物体内動態の個人間変動予測の新機軸	崔 吉道	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
血中遊離DNA遺伝子変異プロファイルを用いたがん患者モニタリング法の確立	木村 英晴	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
脳アミロイドアンギオパチー関連炎症動物モデルの作成と病態解析	坂井 健二	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
分化型甲状腺癌に対する放射性ヨウ素内用療法の超早期治療効果予測	萱野 大樹	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
テクスチャ解析によるビッグデータを用いたMRIによる前立腺癌診断能の向上	吉田 耕太郎	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
新生児ヘモクロマトーシスの原因となるアロ抗体の同定と病態発症機序の解明	谷内江 昭宏	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
CD271陽性エリート細胞を標的とした肺高血圧症に対する新規治療開発	薄井 荘一郎	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
ヒト心筋生検検体を用いたRNA-Seqによる心臓サルコイドーシスの病態解明	吉田 昌平	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析によるリポ蛋白(a)代謝新規関連分子の探索とその機能解析	多田 隼人	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における脂質代謝変容の解明と標的治療への応用	木下 淳	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
ＤＩＣにおける病型別の炎症と凝固の相互作用と血管作動性物質の意義	朝倉 英策	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
広範囲脊椎固定におけるインプラント緩み抑制のための新たな生体材料･固定方法の模索	出村 諭	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会

(¥27,850,000)
小計 30件

糖尿病による骨癒合遅延を解消する挑戦的治療の開発	松原　秀憲	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
Y染色体微小重複が男性不妊症に与える影響－Y染色体は微小欠失だけではない－	飯島　将司	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
ジデルペンによる前立腺癌進展制御機構の解明と新規化合物の開発	泉　浩二	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
ARシグナルの遮断によって活性化する前立腺癌増悪因子の探索と転移指向性の解明	野原　隆弘	附属病院	100,000	補委	日本学術振興会
概日リズムによる子宮収縮制御機構に着目した産婦人科疾患予防法の探索	小野　政徳	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会
凝固系をターゲットとした卵巣癌腹膜播種機序の解明と治療戦略に関する基礎的研究	水本　泰成	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌に対する癌代謝制御に基づく革新的治療技術の確立	遠藤　一平	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
PAX2ヘテロ遺伝子異常から読み解く内耳発生機構	杉本　寿史	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
力学的尺度で痙縮を評価する試みと、その計測装置開発のための研究	八幡　徹太郎	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
一般住民への食生活介入の高尿酸血症及び慢性腎臓病に対する1次予防効果の検討	宮城　栄重	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
低線量X線動画イメージングによる新しい肺機能診断法の創出と臨床応用	田村　昌也	附属病院	450,000	補委	日本学術振興会
腎血流と腎酸素飽和度の画像評価による造影剤腎症の病態解明と経動脈的治療法の開発	奥村　健一朗	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
MRIを用いた新しい肝線維化評価法の確立	小野田　農	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
小児がん治療の致死的合併症である肝中心静脈閉塞症候群の病態解明と新規治療法の開発	酒井　清祥	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
マクロファージ活性化症候群の新規治療を目指した網羅的免疫学的解析	井上　なつみ	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
単一細胞解析を用いた脂肪肝炎関連肝癌における抗腫瘍免疫の解明	北原　征明	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症におけるiPS細胞由来肝細胞の細胞移植治療に関する検討	岡田　寛史	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症におけるNGFR陽性細胞の機能的解析	五天　千明	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
乾癬の病態における制御性B細胞の役割の解明	水牧　貴恵	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
強皮症線維化モデルマウスにおけるFcγレセプターⅡBの役割の検討	澤田　香織	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
HLA-B*54:01陽性造血不全患者における免疫病態の解明	細川　晃平	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連動脈/後腹膜疾患特異的病態の解明と治療法の確立	水島　伊知郎	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連ヘパトカイン発現のマスターレギュレーターの同定とその機能解析	金森　岳広	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
機能性副腎腫瘍のゲノム･エピゲノム解析とAIによる新規診断法の確立	米谷　充弘	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
グラファイトシートを弁尖に用いた大動脈弁再建術に関する基礎研究	山本　宜孝	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
ブタモデルにおけるビタミンB2ワンショット肺マーキング法の確立	齋藤　大輔	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
心肺停止後症候群の予後における脳障害の経時的炎症病態と多元的評価	中村　美穂	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫におけるエクソソーム内WT1のSUMO化による作用の解析	木村　亮堅	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
エクソソームを介した神経膠腫における環境整備機構の解明と新規治療の開発	筒井　泰史	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫のアクアポリン1発現意義の解明と機能制御による新規治療への応用	大石　正博	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会

（￥27,100,000）
小計　30件

前立腺癌リンパ節転移内の免疫環境による転移促進機構の解明	八重樫　洋	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
p53とFoxp4発現を指標とした子宮体部類内膜癌の新しい術前悪性度診断法の開発	折坂　俊介	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌血中循環腫瘍細胞の基礎的検討	上野　貴雄	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
将来を予見する地域脳健診での認知症と口腔機能の関連解析	石宮　舞	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
尿細管障害におけるRAGE分子種の機能的役割	宮川　太郎	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
再発転移性頭頸部扁平上皮癌の微小環境での免疫抑制機構の解明と制御	小林　泰	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
チーム医療による生活指導効果のビッグデータ解析	小倉　央行	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
耐糖能異常合併妊娠におけるインスリン治療後の新生児低血糖症に関する検討	下川　頌子	附属病院	370,000	補委	日本学術振興会
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の検出：血液培養における迅速かつ簡便な手法の確立	東　友子	附属病院	360,000	補委	日本学術振興会
微生物の同定における質量分析法と従来法の差異に関する研究	坂井　優喜子	附属病院	480,000	補委	日本学術振興会
機械学習による術中視覚誘発電位（VEP）モニタリングと術後視機能予測に関する検討	油野　岳夫	附属病院	330,000	補委	日本学術振興会
体性感覚誘発電位における深層学習による異常波形分類法の確立	大江　宏康	附属病院	480,000	補委	日本学術振興会
補聴による耳鳴軽減の過程と程度に関する研究	永井　理紗	附属病院	350,000	補委	日本学術振興会
X線CT装置の漏えい線量計算の新手法の開発	能登　公也	附属病院	480,000	補委	日本学術振興会
病態背景が経皮吸収型製剤の経皮アベイラビリティにおよぼす影響	嶋田　努	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
転移性肝癌に対する陽子線治療後画像変化と治療効果判定方法の研究	高松　繁行	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
悪性腫瘍におけるテロメア伸長及び放射線内照射治療への影響に関する研究	稲木　杏吏	附属病院	1,050,000	補委	日本学術振興会
フローサイトメトリーを用いたI-131 MIBG治療後骨髄抑制予測法の確立	若林　大志	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
膵癌腫瘍内微小環境に着目した術後予後予測に関する新規画像バイオマーカーの確立	井上　大	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
腸内細菌叢関連凝固異常を標的とした難治性門脈血栓症の治療法の開発	鷹取　元	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
ALK肺がんのアポトーシス抵抗性因子を標的とした新規治療の開発	竹内　伸司	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
線維化組織微小環境の制御による慢性腎臓病進展機序の解明と臨床応用	坂井　宣彦	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
トロンボポエチン受容体作動薬ロミプロスチムの造血への影響とDNA修復効果の検証	石山　謙	附属病院	450,000	補委	日本学術振興会
SLIT有効性機序のIgG親和性成熟の解明と抗体誘導型舌下ワクチンのPOC取得	渡部　良広	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
敗血症に続発する臓器障害の予防と先制医療を可能にするバイオマーカーの探索	田島　秀浩	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
消化器癌におけるNa+/H+交換輸送体5の機能解析と特異的阻害薬の開発	二宮　致	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
大動脈解離に対する腹部分枝再建可能なre-entry閉鎖用ステントグラフトの開発	木村　圭一	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
靭帯分泌組織による靭帯再生能および治癒促進効果の解明	中瀬　順介	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
転移性骨・脊椎腫瘍に対する局所凍結療法のがん特異的免疫増強効果の検証	加藤　仁志	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
男性膀胱癌患者を対象とした尿路HPV感染の自然史の解明と膀胱癌発生との関連性	重原　一慶	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会

（\27,150,000）
小計　30件

乳癌患者におけるタモキシフェンによる子宮内膜器質性変化の解析と妊孕性に及ぼす影響	山崎　玲奈	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会
再発･悪性髄膜腫におけるVEGFR-2のシグナル伝達経路の解明	中田　聡子	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の作業記憶ネットワーク機能障害に関わる錐体ニューロン投射タイプの同定	坪本　真	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
注意欠陥･多動性障害の病態生理におけるNMDA受容体の関わり　脳磁図を用いた検討	宮岸　良彰	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害とパルブアルブミンニューロンにおけるKCNS3発現低下	川端　梨加	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
高等哺乳動物を用いた胎児脳回形成異常に関与するシグナル経路の解明	水口　敬司	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
がん免疫療法研究に寄与する革新的な肝胆膵がん免疫系ヒト化マウスモデルの開発	丹尾　幸樹	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
多遺伝子リスクスコアを用いた肥大型心筋症における新たな疾患発症機序の解明	野村　章洋	附属病院	3,400,000	補委	日本学術振興会
慢性GVHD発症機序の探索　-リコモジュリンの慢性GVHD予防機序解明を通して-	藤木　俊寛	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
後天性の家族性造血不全における免疫病態の解明	井美　達也	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
血行性転移における活性化血小板を基軸とした自然免疫回避の解明	岡崎　充善	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
CFD解析を用いたコイル塞栓術における理想のコイル面の解明	宇野　豪洋	附属病院	2,300,000	補委	日本学術振興会
覚醒下手術による視野の回復メカニズムの解明	一ノ瀬　惇也	附属病院	2,300,000	補委	日本学術振興会
膠芽腫における新規予後予測バイオマーカーephrin-A2の基礎基盤構築	平井　希	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
既存薬剤Pentamidineによる新規抗グリオーマ幹細胞療法の基礎基盤構築	玉井　翔	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
超高周波脳波測定による術中高次脳機能評価技術の開発および新規脳機能局在の解明	吉識　賢志	附属病院	2,700,000	補委	日本学術振興会
「抗菌薬含有脂肪由来幹細胞シート」を用いたバイオフィルム感染症への応用	山室　裕紀	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
ヨード担持インプラントにおける血行性術後インプラント周囲感染の予防効果	井上　大輔	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
悪性軟部腫瘍広範切除後の液体窒素処理自家神経移植術の確立	米澤　宏隆	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
Foxp4の子宮内膜癌増悪化の機序解明とアンドロゲンに着眼した新規治療法の開発	松岡　歩	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
マウス子宮蠕動運動と概日リズムに着目した産科婦人科疾患予防法の探索	細野　隆	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
マウス子宮筋中層における新規メッシュ構造の生理学的意義	鏡　京介	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
希少絨毛性疾患PSTTとETTの新規診断法および治療法の開発と悪性化機構の解明	茅橋　佳代	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
Bloom syndrome protein異常による子宮内膜発癌誘導作用の検討	小幡　武司	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
グリア細胞に焦点を当てたマウス顔面神経切断モデルの検討	高相　裕司	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
生体活性を付与したジルコニア開発による持続可能なインプラント治療確立への挑戦	伊藤　達郎	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
生体内での顎関節症滑膜炎誘導機構の解明	小林　一彦	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
関節軟骨の廃用症候群における運動療法の確立と変形性関節症の発症に及ぼす影響	高橋　郁文	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
機械学習を用いたCKD未病状態における新規病型分類と治療効果	遠山　直志	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
リトドリンの胎盤透過性および胎児蓄積性と新生児低血糖症発症との因果関係解明	藤田　有美	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会

(¥46,350,000)
小計　30件

HLA-Eを介した肝がん免疫反応の解析と治療開発	中河　秀俊	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
難治性神経芽腫に対する131I-MIBG内照射によるアブスコパル効果の解明	黒田　梨絵	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病における抗エリスロポエチン受容体抗体の臨床学的意義の検討	大島　恵	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた末期腎不全の新規原因遺伝子同定および機序解明	山村　雄太	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
アルドステロン産生副腎過形成の成因となる脂肪組織由来miRNAの探索と機能解析	中野　雄二郎	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞シートを付加した強化型自家神経移植による末梢神経再生の研究	村井　惇朗	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
小児特発性側弯症患者の全脊椎X線撮影における線量低減プロトコルの開発	峰広　香織	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
B型･D型肝炎ウイルス共感染が引き起こす肝疾患の分子生物学的機序の解明	島上　哲朗	附属病院	3,600,000	補委	日本学術振興会
唾液中のシクロホスファミド濃度と口腔粘膜の関連性についての検討	志村　裕介	附属病院	160,600	補委	日本学術振興会
上咽頭癌発癌ならびに多様性獲得分子機構の解析と新規治療法の開発	吉崎　智一	医薬保健研究域医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
嗜好食品による抗老化作用と認知機能促進の分子基盤及び機能的形態学的機序の解明	杉本　直俊	医薬保健研究域医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
Aβ凝集体の個体間伝播とその防御に関する研究	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	1,025,000	補委	日本学術振興会
酸化･還元バランスの破綻による糖尿病病態形成機構の解明	篁　俊成	医薬保健研究域医学系	2,400,000	補委	日本学術振興会
Epstein-Barrウイルスによる細胞老化関連分泌形質誘導機構の解明	脇坂　尚宏	医薬保健研究域医学系	2,100,000	補委	日本学術振興会
肝硬変における炎症細胞社会の解明	金子　周一	医薬保健研究域医学系	13,800,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるネオアンチゲンの同定と遺伝子改変T細胞による免疫療法の開発	水腰　英四郎	医薬保健研究域医学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫由来のエクソソームを介したミクログリアによる微小環境整備の解明	中田　光俊	医薬保健研究域医学系	2,700,000	補委	日本学術振興会
患者B細胞を用いたモノクローナル抗体作製とその臨床応用	高松　博幸	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
DOCK11ノックダウンによりcccDNA排除の新規抗HBV治療応用への基礎研究	李　影奕	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症網羅的遺伝子解析スキームの樹立	山岸　正和	医薬保健研究域医学系	100,000	補委	日本学術振興会
免疫沈降法による膠原病患者血清中の自己抗体の同定と臨床的特徴の検討	濱口　儒人	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
多孔質足場とフローダイバーターによる動脈瘤の血栓化および開口部新生内膜の誘導実験	内山　尚之	医薬保健研究域医学系	350,000	補委	日本学術振興会
血小板の上皮化促進作用に対する子宮体癌の不応性獲得機序の解明とその責任分子の同定	明星　須晴	医薬保健研究域医学系	250,000	補委	日本学術振興会
院外心停止に対する高齢化社会に適した現場蘇生中止基準の開発に関する研究	後藤　由和	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
児童青年期の強迫性障害に対する家族介入を伴う認知行動療法の有効性の検討	紺谷　恵子	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
抗原特異的T細胞受容体を用いた肝癌治療に関する検討	玉井　利克	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
ヘパトカインセレノプロテインPによる適応熱産生障害機構の解明	高山　浩昭	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
変動磁場冷却保存装置による大動物の零度以下心臓保存法の研究	加藤　寛城	医薬保健研究域医学系	500,000	補委	日本学術振興会
肝臓-骨格筋連関を標的とした運動効果増強薬の開発	篁　俊成	医薬保健研究域医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者の認知機能低下に対する趣味および仕事の影響の性差に関する前向き縦断研究	堀本　真以	医薬保健研究域医学系	540,000	補委	日本学術振興会

(¥48,825,600)
小計　30件

統合失調症の抑制性介在ニューロン変化へのμ型オピオイド受容体の関与	橋本　隆紀	医薬保健研究域医学系	2,500,000	補委	日本学術振興会
高リスク化学療法不応性神経芽腫に対する新治療戦略の開発	絹谷　清剛	医薬保健研究域医学系	3,250,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるHLAクラスIアレル拘束性自己抗原の同定	中尾　眞二	医薬保健研究域医学系	4,140,000	補委	日本学術振興会
食用油に由来するヒドロキシノネナールが生活習慣病を惹起する機序	山嶋　哲盛	医薬保健研究域医学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
化学療法誘導性転移の新規分子機構の解明と予防法の確立	坂本　毅治	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
エンベロープ改変レンチウイルスを用いた新規遺伝子治療前臨床試験モデルの樹立	伊川　泰広	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
IVRとナノメディシンの併用によるがんターゲティングおよび微小環境の制御	香田　渉	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析技術を用いた家族性高コレステロール血症の遺伝子診断	川尻　剛照	医薬保健研究域医学系	500,000	補委	日本学術振興会
サイトカイン産生B細胞の制御による強皮症の新規治療法の開発	松下　貴史	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
連続肝生検組織を用いた非アルコール性脂肪性肝疾患の病理進展因子の同定	竹下　有美枝	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
生体内分子イメージングによる肉腫進展機序の解明	土屋　弘行	医薬保健研究域医学系	650,000	補委	日本学術振興会
新しい角膜内皮移植術（DMEK）の合併症の克服と術後角膜の生体組織学的特長の解析	小林　顕	医薬保健研究域医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
高齢者院外心停止の蘇生処置不要の事前指示を救急現場で受け入れる根拠の作成	舟田　晃	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
三次元解析による精子形成障害メカニズムの解明	仲田　浩規	医薬保健研究域医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
プロトン磁気共鳴分光法による肝腫瘍のイソクエン酸デヒドロゲナーゼ変異の網羅的検討	油野　裕之	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
Integrinを標的とした糸球体硬化進展の新規機序解明と特異的治療の開発	原　怜史	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
多発性筋炎モデルマウスに対するSelectin阻害剤の治療効果の検討	大石　京介	医薬保健研究域医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
EBV関連リンパ増殖性疾患発症とKIRの関連	岩城　憲子	医薬保健研究域医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種における腹腔内微小環境の免疫担当細胞の役割と機能解析	山口　貴久	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
微弱電磁場と不凍糖タンパクを用いた低温心保存法	鷹合　真太郎	医薬保健研究域医学系	300,000	補委	日本学術振興会
CD38 によるくも膜下出血後の予後改善に関する検討	中尾　庸人	医薬保健研究域医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
自家海綿骨と自家脂肪由来再生細胞の併用による骨癒合促進の試み	濱田　知	医薬保健研究域医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
軟骨分化誘導させた脂肪由来幹細胞シートによる変形性膝関節症の軟骨再生	上野　琢郎	医薬保健研究域医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
立位MRI・動態超音波評価を用いた早期変形性膝関節症に対する新しい評価方法の開発	下崎　研吾	医薬保健研究域医学系	600,000	補委	日本学術振興会
破骨細胞に影響を与える骨肉腫細胞由来エクソソーム内分子の解明	荒木　麗博	医薬保健研究域医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
子宮体癌自然発症マウスを用いた時計遺伝子異常による癌発生と進展誘導機構の解析	中出　恭平	医薬保健研究域医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
EBウイルス関連microRNAによる上咽頭癌治療後の予後推定法の開発	青木　由宇	医薬保健研究域医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌腫瘍微小環境におけるエクソソームを介した免疫寛容機構の解明	阿河　光治	医薬保健研究域医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
光干渉断層計をもちいた前視野緑内障の早期発見についての研究	竹本　大輔	医薬保健研究域医学系	500,000	補委	日本学術振興会
脳神経外科手術による続発性脳アミロイドアンギオパチー	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	550,000	補委	日本学術振興会

（\39,390,000）
小計　30件

スーパーマイクロサージャリーを用いた胆道癌PDOXマウスモデルの確立	八木　真太郎	医薬保健研究域医学系	1,550,000	補委	日本学術振興会
胚シグナルに対する免疫応答異常を共通の病因とする新しい疾患群の同定と解析	藤原　浩	医薬保健研究域医学系	300,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞由来間葉系幹細胞の免疫修飾作用を用いた炎症性腸疾患の治療効果と機序解明	関　晃裕	医薬保健研究域医学系	400,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児の脳活動の機能別特徴に対応する症状多様性の検討	菊知　充	医薬保健研究域医学系	3,700,000	補委	日本学術振興会
急性期病院での高齢患者のせん妄の早期発見・介入を目指した心理的支援モデルの構築	水上　喜美子	医薬保健研究域医学系	2,050,000	補委	日本学術振興会
アルツハイマー病の医原性伝播の分子病態解明と予防法の開発	濱口　毅	医薬保健研究域医学系	1,050,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後の病態変化と左室リモデリングに関する生体シグマ-1受容体イメージング	瀧　淳一	医薬保健研究域医学系	900,000	補委	日本学術振興会
血中IL-18の異常高値で特徴付けられる疾患群の病態解明と治療法開発	和田　泰三	医薬保健研究域医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
Study of liver restorative therapy for a murine nonalcoholic steatohepatitis model by the administration of immune-suppressive fractions of autologous adipose tissue-derived stromal cells	Nasti Alessandro	医薬保健研究域医学系	1,040,000	補委	日本学術振興会
新規線維化抑制因子Semaphorin6Aは心臓リモデリングを抑制できるのか？	大辻　浩	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
薬物療法が与える免疫原性細胞死の評価	笠原　寿郎	医薬保健研究域医学系	800,000	補委	日本学術振興会
覚醒下脳手術による意欲関連ネットワークの解明	木下　雅史	医薬保健研究域医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
日本人の解剖学的骨盤形態に適合した人工股関節再置換用寛骨臼再建補強プレートの開発	加畑　多文	医薬保健研究域医学系	715,000	補委	日本学術振興会
腎細胞癌におけるIO薬効果予測因子の基礎的・臨床的探索	角野　佳史	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌のエクソソームを介した腫瘍進展機序の解明	加藤　広禄	医薬保健研究域医学系	900,000	補委	日本学術振興会
MCI/SCI高齢者の認知機能改善・認知症予防を目指したストレスマネジメント介入	柚木　颯偲	医薬保健研究域医学系	300,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎による腸管免疫・癌微小環境動態と大腸癌への影響の解明	関　晃裕	医薬保健研究域医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
乾癬におけるS1Pシグナルを標的とした新規治療法の開発	加納　美優	医薬保健研究域医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
肝類洞閉塞症候群に対する早期診断のためのバイオマーカーの確立と新規予防法の開発	大畠　慶直	医薬保健研究域医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
独自開発したシート状脂肪幹細胞を用いた特発性大腿骨頭壊死症に対する治療法の開発	上岡　顕	医薬保健研究域医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
脊椎転移に対する腫瘍塞栓の癌免疫増強効果の解明　―癌免疫療法と脊椎手術の融合―	米澤　則隆	医薬保健研究域医学系	700,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞を用いたインプラント周囲感染症の新たな治療法の開発	吉谷　純哉	医薬保健研究域医学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
医師採取および自己採取法を用いた日本人男性性器HPV感染症の疫学調査	中嶋　一史	医薬保健研究域医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
EBV感染によって惹起される細胞内オートファジー活性の意義の解明	石川　和也	医薬保健研究域医学系	800,000	補委	日本学術振興会
鶏卵モデルを用いた喉頭乳頭腫難治化要因の解明	中西　庸介	医薬保健研究域医学系	800,000	補委	日本学術振興会
高浸潤口腔癌微小環境での免疫寛容調節機構の解明	平井　真理子	医薬保健研究域医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
3次元モデルを用いた母指CM関節症の効果的な骨切り方法の開発	中田　美香	医薬保健研究域医学系	1,900,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いた免疫代謝解析に基づく頭頸部癌に対する抗腫瘍免疫活性化法の開発	脇坂　尚宏	医薬保健研究域医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
脳腫瘍進展に伴う脳機能シフトの法則と限界の解明	中田　光俊	医薬保健研究域医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
マルチキナーゼ阻害薬による新規骨肉腫治療の開発	樋口　貴史	医薬保健研究域医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会

(\37,905,000)
小計　30件

人種間の他者理解脳内ネットワーク解析と覚醒下手術への応用	中田　光俊	医薬保健研究域医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
膠原病患者の運動中の心機能応答についての縦断的研究	染矢　富士子	医薬保健研究域保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病患者が家族サポート感取・対応力を発揮するための患者教育プログラムの開発	堀口　智美	医薬保健研究域保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
産後の授乳姿勢が母体の筋力と姿勢アライメントに与える影響と改善プログラムの開発	小西　佳世乃	医薬保健研究域保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
NAFLD/NASH肝組織リン酸化活性プロファイリングと新規治療標的分子の同定	本多　政夫	医薬保健研究域保健学系	2,600,000	補委	日本学術振興会
感情識別機能の術後回復に伴う神経ネットワーク再編成メカニズムの解明	中嶋　理帆	医薬保健研究域保健学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ-1が造血幹細胞移植後治療成績におよぼす効果と新規治療戦略	森下　英理子	医薬保健研究域保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
進行肝臓病患者に対するMRIを用いた早期肝細胞癌スクリーニング手技の確立	小林　聡	医薬保健研究域保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
CT撮影における多段階線量評価法の開発と評価	松原　孝祐	医薬保健研究域保健学系	650,000	補委	日本学術振興会
副作用が懸念される薬物の腎尿細管分泌機序の解明と新規腎機能核医学画像測定法の開発	小林　正和	医薬保健研究域保健学系	550,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子の同定と不整脈発症機序の解明および有効治療薬の決定	林　研至	医薬保健研究域保健学系	1,090,000	補委	日本学術振興会
乳児の泣きに着目した育児支援プログラムの効果検証	田淵　紀子	医薬保健研究域保健学系	885,000	補委	日本学術振興会
周産期女性のウェルネスケアシステム構築と血中ストレス関連物質量に基づく効果の検証	鏡（関塚）　真美	医薬保健研究域保健学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
小動物SPECT・PET同時測定法における物理現象の解明と定量評価法の確立	澁谷　孝行	医薬保健研究域保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
糖尿病ラットの廃用性筋萎縮回復過程における運動効果	間所　祥子	医薬保健研究域保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
臨床用グリンファティックMRIの開発	宮地　利明	医薬保健研究域保健学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
末梢動脈疾患ハイリスク患者への振動ケアがもたらす重症虚血肢移行遅延効果の検討	大桑　麻由美	医薬保健研究域保健学系	340,000	補委	日本学術振興会
手の運動調節能と上肢パフォーマンス能力及び筋活動の関連性に関する研究	西村　誠次	医薬保健研究域保健学系	475,000	補委	日本学術振興会
胸部・腰部・骨盤の3次元変位装置を用いた介助動作解析	柴田　克之	医薬保健研究域保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
行動柔軟性における大脳基底核と小脳の連関に関するリハビリテーション技術の基礎研究	米田　貢	医薬保健研究域保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
糖尿病および加齢による線維化が関節構成体に及ぼす影響	松崎　太郎	医薬保健研究域保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
放射線治療における変形画像照合技術を用いた線量合算精度の評価手法確立	武村　哲浩	医薬保健研究域保健学系	1,050,000	補委	日本学術振興会
医薬品個別化適正使用のための薬物代謝酵素活性を定量測定する新規核医学診断法の確立	水谷　明日香	医薬保健研究域保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
RIP-Seq法を用いたRIG-IのRNA decoy探索と核酸医薬への応用	村居　和寿	医薬保健研究域保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
男性2型糖尿病患者の筋肉のある体つき認識と血糖コントロールに関係する要因の解明	浅田　優也	医薬保健研究域保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
統合失調症患者の予測に基づく認知・運動機能の評価方法の構築に関する基礎的研究	菊池　ゆひ	医薬保健研究域保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
ポータブルNIRSによる中高年者の後出しボディーじゃんけん遂行時の脳活動の検討	武田　千絵	医薬保健研究域保健学系	200,000	補委	日本学術振興会
生後早期の母子関係を評価する新規バイオマーカーの開発 -発達障害回避を目指して-	毎田　佳子	医薬保健研究域保健学系	1,550,000	補委	日本学術振興会
右前頭葉機能の賦活・抑制に関わる新規神経機能ネットワークの解明	中嶋　理帆	医薬保健研究域保健学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
分子疫学的コホート研究による遺伝性心血管疾患のリスク層別化・病態解明・治療薬探索	藤野　陽	医薬保健研究域保健学系	3,810,000	補委	日本学術振興会

（\32,100,000）
小計　30件

概日リズムに基づく妊娠・産褥期セルフケアプログラムの開発-光と食による制御の検討	毎田　佳子	医薬保健研究域保健学系	2,700,000	補委	日本学術振興会
HSF-1 が関与する中枢神経再生へのカスケード反応	杉谷　加代	医薬保健研究域保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
MRIと深層学習を併用した新規乳癌悪性度解析法の確立：オーダーメイド治療への展開	川島　博子	医薬保健研究域保健学系	100,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性造血不全における新たな免疫回避機構による造血制御変容の基盤的解明	片桐　孝和	医薬保健研究域保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
父親になる男性の養育ホルモン〔オキシトシン〕の変動およびその役割の解明	南　香奈	医薬保健研究域保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
複合型高脂血症発症に関与する肝性リパーゼ活性・内因性リパーゼインヒビターの役割	稲津　明広	医薬保健研究域保健学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
近接ジオメトリ方式による超高解像度CTの応用技術開発	川嶋　広貴	医薬保健研究域保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
AYA世代造血器腫瘍女性サバイバーへの性腺機能障害自己受容プログラムの開発と評価	太田　良子	医薬保健研究域保健学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者におけるプレクリニカルCAAに関する前向き縦断研究	篠原　もえ子	医薬保健学総合研究科	700,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連腎臓病への自然免疫の関わりの解明と新規治療ターゲットの探索	伊藤　清亮	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
骨組織におけるインスリン・IGF1シグナル抵抗性とセレノプロテインPの関係	石井　清朗	医薬保健学総合研究科	700,000	補委	日本学術振興会
腸内細菌・ウイルス叢の変化と糖尿病・高血圧・NASH改善との関連性の経時的評価	林　智之	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝線維化を伴う肝発がん・再発の新規治療標的因子の機能解析	岡田　光	医薬保健学総合研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
悪性軟部腫瘍個別化療法のための新規同所移植モデル確立とその機能解析	山本　憲男	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
ループス腎炎の増殖性病変とワイヤーループ病変におけるケモカインの関与	藏島　乾	医薬保健学総合研究科	1,000,000	補委	日本学術振興会
軟部肉腫に対する患者由来腫瘍同所移植マウスモデルを用いた個別化医療の開発	五十嵐　健太郎	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
骨代謝異常に伴う骨密度低下が脊柱側弯の進行に及ぼす影響の解明	横川　文彬	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
遺伝子改変T細胞治療を目的としたhTERT特異的T細胞受容体の機能評価	梶　喜一郎	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
人工知能を用いた機能画像と臨床情報の統合による高性能診断予後評価モデルの構築	中嶋　憲一	先進予防医学研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
ピロリン酸シンチグラフィの三次元定量評価を用いた心アミロイドーシス診断の研究	渡辺　悟	先進予防医学研究科	1,500,000	補委	日本学術振興会
自閉症幼児の母子インタラクション中の神経ネットワーク解析による診断指標の確立	長谷川　千秋	子どものこころの発達研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
2台の脳磁計を用いた社会的交流場面の脳内ネットワーク解析と表情解析による行動評価	長谷川　千秋	子どものこころの発達研究センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラムの友達作りに関するスキルトレーニングの教育現場への応用	田中　早苗	子どものこころの発達研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
小児脳磁図を用いた自閉症の運動機能の拙劣さに関わる神経ネットワーク特性	AN KYUNGMIN	子どものこころの発達研究センター	2,200,000	補委	日本学術振興会
GABA神経伝達の低下が自閉スペクトラム児の発達に与える影響について	廣澤　徹	子どものこころの発達研究センター	2,000,000	補委	日本学術振興会
肝がんのがんエコシステム解析に基づく新規治療標的分子探索	山下　竜也	先進予防医学研究センター	850,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌・膵癌・胆道癌における腫瘍局所の免疫プロファイルの意義の解明	寺島　健志	先進予防医学研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
分子標的薬で肺がんの根治を目指す治療の非臨床研究基盤の形成	矢野　聖二	がん進展制御研究所	3,600,000	補委	日本学術振興会
大腸がんの糖代謝改変と細胞核分裂機構を繋ぐ分子経路の解明とがん制御法開発への応用	源　利成	がん進展制御研究所	3,900,000	補委	日本学術振興会
BRAF V600E陽性甲状腺未分化がんの分子標的薬耐性と耐性を克服する基礎研究	西山　明宏	がん進展制御研究所	2,300,000	補委	日本学術振興会

(¥40,650,000)
小計　30件

治療抵抗性小細胞肺がんにおけるケモカインネットワークを標的とした新規治療の開発	谷本　梓	がん進展制御研究所	2,300,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに立脚した分子予防学の構築	和田　隆志	その他部局等	11,100,000	補委	日本学術振興会
キラルアミノ酸による糖尿病性腎症の病態解明と新規バイオマーカー開発	和田　隆志	その他部局等	1,900,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病の抗エリスロポエチン受容体抗体の国際的バイオマーカー確立と国際比較	和田　隆志	その他部局等	2,050,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉　英策	附属病院	450,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	多田　隼人	附属病院	200,000	補委	厚生労働省
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究	島上　哲朗	附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	出村　諭	附属病院	250,000	補委	厚生労働省
肝炎総合政策の拡充への新たなアプローチに関する研究	島上　哲朗	附属病院	4,000,000	補委	厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	島上　哲朗	附属病院	400,000	補委	厚生労働省
先天異常症候群のライフステ-ジ全体の自然歴と合併症の把握:Reverse phenotvping を包含したアプローチ	渡邉　淳	附属病院	950,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	川野　充弘	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	高比良　雅之	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
小児・AYA 世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	小野　政徳	附属病院	200,000	補委	厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	村山　敏典	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	野村　章洋	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	米谷　充弘	附属病院	2,000,000	補委	厚生労働省
地域に応じた肝炎ウイルス診療連携体制構築の立案に資する研究	金子　周一	医薬保健研究域医学系	10,750,000	補委	厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた統合研究	和田　隆志	医薬保健研究域医学系	15,000,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	川尻　剛照	医薬保健研究域医学系	200,000	補委	厚生労働省
認知症に関する血液・髄液バイオマーカーの適性使用のための研究	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	300,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	25,000,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	2,300,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田　正仁	医薬保健研究域医学系	200,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	和田　隆志	医薬保健研究域医学系	400,000	補委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田　隆志	医薬保健研究域医学系	750,000	補委	厚生労働省
前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成のための調査研究	小林　顕	医薬保健研究域医学系	500,000	補委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	原田　憲一	医薬保健研究域医学系	300,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	中尾　眞二	医薬保健研究域医学系	500,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	加畑　多文	医薬保健研究域医学系	100,000	補委	厚生労働省

(\85,700,000)
小計　30件

キャッスルマン病、TAFRO症候群、類縁疾患の診療ガイドラインの策定やさらなる改良に向けた国際的な相違形成を踏まえた調査研究	岩城　憲子	医薬保健研究域医学系	200,000	補 委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診察ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	濱口　儒人	医薬保健研究域医学系	200,000	補 委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診療ガイドライン改訂、診療提供体制・移行医療体制構築、データベースの確立に関する研究	和田　泰三	医薬保健研究域医学系	200,000	補 委	厚生労働省
慢性活動性EBV感染症と類縁疾患の疾患レジストリ情報に基づいた診療ガイドライン改定	和田　泰三	医薬保健研究域医学系	200,000	補 委	厚生労働省
自己炎症疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	和田　泰三	医薬保健研究域医学系	600,000	補 委	厚生労働省
新規及び既存の放射線診療に対応する放射線防護の基準策定のための研究	松原　孝祐	医薬保健研究域保健学系	250,000	補 委	厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	森下　英理子	医薬保健研究域保健学系	15,385,000	補 委	厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	藤野　陽	医薬保健研究域保健学系	300,000	補 委	厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	稲津　明広	医薬保健研究域保健学系	500,000	補 委	厚生労働省
オンライン特定保健指導・オンライン診療におけるPHR活用による行動変容に関する研究	米田　貢	医薬保健研究域保健学系	500,000	補 委	厚生労働省
3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	矢野　聖二	がん進展制御研究所	300,000	補 委	厚生労働省

(\18,635,000)
小計　11件

(\431,655,600)
計　311件

(注)　1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名･出版年月等	論文種別
1	Takeshi Terashima , Masao Honda , Tadashi Toyama 他	消化器内科	IL-28B variant as a predictor in patients with advanced hepatocellular carcinoma treated with hepatic arterial infusion chemotherapy.	Journal of Gastroenterology and Hepatology 35(10):1813-1820, 2020 Oct.	Original Article
2	Takuya Seike , Takuya Komura , Yoshiaki Shimizu 他	消化器内科	he Serum Mac-2-binding Protein Glycosylation Isomer Dynamics in Acute Liver Injury.	Internal Medicine 59(13):1581-1588, 2020 Jul.	Original Article
3	Takeshi Terashima , Tatsuya Yamashita , Noboru Takata 他	消化器内科	Comparative analysis of liver functional reserve during lenvatinib and sorafenib for advanced hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research 50(7):871-884, 2020 Jul.	Original Article
4	Masaki Miyazawa , Hajime Takatori , Kazunori Kawaguchi 他	消化器内科	Management of biliary stricture in patients with IgG4-related sclerosing cholangitis.	PLoS One 15(4): e0232089, 2020 Apr.	Original Article
5	Masaaki Kitahara , Eishiro Mizukoshi , Takeshi Terashima 他	消化器内科	Safety and Long-Term Outcome of Intratumoral Injection of OK432-Stimulated Dendritic Cells for Hepatocellular Carcinomas After Radiofrequency Ablation.	Translational Oncology 13(7): 100777, 2020 Jul.	Original Article

5件

6	Juria Kitabayashi , Takayoshi Shirasaki , Tetsuro Shimakami 他	消化器内科	Upregulation of the Long Non-Coding RNA HULC by Hepatitis C Virus and its Regulation of Viral Replication.	J Infect Dis. 2020 Jun 9:jiaa325. doi: 10.1093/infdis/jiaa325. Online ahead of print.	Original Article	
7	Miyabi Miura , Eishiro Mizukoshi , Tomomi Hashiba 他	消化器内科	Effects of adaptive immune cell therapy on the immune cell profile in patients with advanced gastric cancer.	Cancer Medicine 9(14): 4907 -4917, 2020 Jul.	Original Article	
8	Saiho Sugimoto , Takeshi Terashima , Tatsuya Yamashita 他	消化器内科	Tumor lysis syndrome in a patient with metastatic melanoma treated with nivolumab.	Clinical Journal of Gastroenterology 13(5):935-939, 2020 Oct.	Original Article	
9	Tsuyoshi Suda , Kazuya Kitamura , Shuichi Kaneko	消化器内科	eripancreatic Fluid Collection Complicated by Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration.	ACG Case Reports Journal 7(7): e00432, 2020 Jul.	Original Article	
10	Yuriko Sakai , Guanliang Chen , Yinhua Ni 他	消化器内科	DPP-4 inhibition with anagliptin reduces lipotoxicity-induced insulin resistance and steatohepatitis in male mice.	Endocrinology 161(10):bqaa139, 2020 Oct.	Original Article	5件

11	Tsuyoshi Suda , Hajime Takatori , Takehiro Hayashi 他	消化器内科	Investigation of Thrombosis Volume, Anticoagulants, and Recurrence Factors in Portal Vein Thrombosis with Cirrhosis.	Life (Basel) 10(9):177, 2020 Sep.	Original Article	
12	Tatsuo Kumai , Eishiro Mizukoshi , Tomomi Hashiba 他	消化器内科	Effect of adoptive T-cell immunotherapy on immunological parameters and prognosis in patients with advanced pancreatic cancer.	Cytotherapy 23(2):137-145, 2021 Feb.	Original Article	
13	Takuya Komura , Takashi Kagaya , Hideo Takayama 他	消化器内科	Clinical Features and Dynamics of T Cells-Related Markers in Immunocompetent Patients with Cytomegalovirus Hepatitis.	Canadian Journal of Gastroenterology and Hepatology 2020:8874620, 2020 Aug.	Original Article	
14	Yuriko Sakai , Hideyuki Arie , Yinhua Ni 他	消化器内科	Lactobacillus pentosus strain S-PT84 improves steatohepatitis by maintaining gut permeability.	Journal of Endocrinology 247(2):169-181, 2020 Nov.	Original Article	
15	Kazunori Kawaguchi , Shuichi Kaneko	消化器内科	Notch Signaling and Liver Cancer	Advances in Experimental Medicine and Biology 1287:69-80, 2021 Jan.	Review	5件

16	Takuya Komura , Takashi Kagaya , Noriaki Orita 他	消化器内科	Imaging features and pathological evaluation by EUS-FNA enable conservative management in patient of lymphoepithelial cyst of the pancreas: a case report.	Clinical Journal of Gastroenterology 14(1):370-374, 2021 Feb.	Case report	
17	Hiroyuki Takamura , Ryousuke Gabata , Yoshinao Obatake 他	消化器内科	Clinical features and diagnostic imaging of cholangiolocellular carcinoma compared with other primary liver cancers: a surgical perspective.	Technol Cancer Res Treat. 19:1533033820948141, Jan-Dec2020.	Original Article	
18	Tuyen Thuy Bich Ho , Alessandro Nasti , Akihiro Seki 他	消化器内科	Combination of gemcitabine and anti-PD-1 antibody enhances the anticancer effect of M1 macrophages and the Th1 response in a murine model of pancreatic cancer liver metastasis.	Journal for Immunotherapy of Cancer 8(2):e001367, 2020 Nov.	Original Article	
19	Takeshi Terashima , Tatsuya Yamashita , Noboru Takata 他	消化器内科	Safety and efficacy of sorafenib followed by regorafenib or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research 51(2):190-200, 2021 Feb.	Original Article	
20	Tomoyuki Hayashi , Yoshiro Asahina , Hiroyoshi Nakanishi 他	消化器内科	Evaluation of the efficacy and safety of salvage photodynamic therapy by talaporfin sodium for cervical esophageal cancers and lesions larger than 3 cm.	Esophagus 18(3):645-654, 2020 Nov.	Original Article	5件

21	Noboru Takata , Kiyo-Aki Ishii , Hiroaki Takayama 他	消化器内科	LECT2 as a hepatokine links liver steatosis to inflammation via activating tissue macrophages in NASH.	Scientific Reports 11(1):555, 2021 Jan.	Original Article	
22	Nazmul Hasan , Naoto Nagata , Jun-Ichi Morishige 他	消化器内科	Brown adipocyte-specific knockout of Bmal1 causes mild but significant thermogenesis impairment in mice.	Molecular Metabolism 49:101202, 2021 Mar.	Original Article	
23	Akihiko Kida , Eishiro Mizukoshi , Hidenori Kido 他	消化器内科	The characteristics of the immune cell profiles in peripheral blood in cholangiocarcinoma patients	Hepatol Int doi: 10.1007/s12072-021-10177-8. Online ahead of print, 2021 Mar.	Original Article	
24	Toshinari Takamura	内分泌･代謝内科	Hepatokine Selenoprotein P-Mediated Reductive Stress Causes Resistance to Intracellular Signal Transduction (Review).	Antioxid Redox Signal. 2020 Sep 1	Orignal Article	
25	Akihiro Kikuchi , Hiroaki Takayama , Hirohiko Tsugane 他	内分泌･代謝内科	Plasma half-life and tissue distribution of leukocyte cell-derived chemotaxin 2 in mice.	Sci Rep. 2020 Aug 6	Orignal Article	5件

26	Yumie Takeshita , Takeo Tanaka , Hitomi Wakakuri 他	内分泌･代謝内科	Metabolic and sympathovagal effects of bolus insulin glulisine versus basal insulin glargine therapy in people with type 2 diabetes: A randomized controlled study.	J Diabetes Investig. 2020 Nov 29	Orignal Article	
27	Yuki Isobe , Hiroki Asakura , Hiromasa Tsujiguchi 他	内分泌･代謝内科	Alcohol Intake Is Associated With Elevated Serum Levels of Selenium and Selenoprotein P in Humans.	Front Nutr. 2021 Feb 22	Orignal Article	
28	Yuhei Fujisawa , Satoshi Hara , Takeshi Zoshima 他	ﾘｳﾏﾁ･膠原病内科	Fulminant myocarditis and pulmonary cavity lesion induced by disseminated mucormycosis in a chronic hemodialysis patient: Report of an autopsied case.	Pathol Int. 70(8): 557-62, 2020	Original Article	
29	Ichiro Mizushima , Takahiro Yamano , Hiroyuki Kawahara 他	ﾘｳﾏﾁ･膠原病内科	Positive disease-specific autoantibodies have limited clinical significance in diagnosing IgG4-related disease in daily clinical practice	Rheumatology (Oxford). keaa783, 2020	Original Article	
30	Tamehito Onoe , Satoshi Hara , Kazunori Yamada 他	ﾘｳﾏﾁ･膠原病内科	Significance of kidney biopsy in autosomal dominant tubulointerstitial kidney disease-UMOD: is kidney biopsy truly nonspecific?	BMC Nephrol. 22: 1, 2021	Original Article	5件

31	Takeshi Zoshima , Kazuyuki Suzuki , Fae Suzuki 他	ﾘｳﾏﾁ･膠原病内科	ANCA-associated nephritis without crescent formation has atypical clinicopathological features: a multicenter retrospective study	Clin Exp Nephrol. 24(11): 999-1006, 2020	Original Article	
32	Noriyuki Ohkura , Kazuo Kasahara , Satoshi Watanabe 他	呼吸器内科	Dynamic-Ventilatory Digital Radiography in Air Flow Limitation: A Change in Lung Area Reflects Air Trapping.	Respiration . 2020;99(5):382-388. doi: 10.1159/000506881. Epub 2020 Apr 29.	Original Article	
33	Rie Tanaka , Isao Matsumoto , Masaya Tamura 他	呼吸器内科	Comparison of dynamic flat-panel detector-based chest radiography with nuclear medicine ventilation-perfusion imaging for the evaluation of pulmonary function: A clinical validation study	Med Phys. 2020 Oct;47(10):4800-4809. doi: 10.1002/mp.14407. Epub 2020 Aug 5.	Original Article	
34	Noriyuki Ohkura , Masaki Fujimura , Johsuke Hara 他	呼吸器内科	Methacholine-induced cough as an indicator of bronchodilator-responsive cough.	Pulm Pharmacol Ther . 2020 Oct;64:101962. doi: 10.1016/j.pupt.2020.101962. Epub 2020 Oct 8.	Original Article	
35	Shohei Yoshida , Hayato Tada , Tetsuo Nishikawa 他	循環器内科	Antegrade Balloon Aortic Valvuloplasty for the Highly Frail Patient of Severe Aortic Stenosis Complicated with Transthyretin-type Cardiac Amyloidosis.	.Intern Med. 2020 Apr 15;59(8):1053-1057. doi: 10.2169/internalmedicine.3870-19. Epub 2019 Dec 26	Case report	5件

36	Kenshi Hayashi , Ryota Teramoto , Akihiro Nomura 他	循環器内科	Impact of functional studies on exome sequence variant interpretation in early-onset cardiac conduction system diseases.	Cardiovasc Res. 2020 Nov 1;116(13):2116-2130. doi: 10.1093/cvr/cvaa010	Original Article	
37	Hayato Tada , Hirofumi Okada , Akihiro Nomura 他	循環器内科	A Healthy Family of Familial Hypobetalipoproteinemia Caused by a Protein-truncating Variant in the PCSK9 Gene	Intern Med. 2020;59(6):783-787	Case report	
38	Yoshitaka Okabe , Hisayoshi Murai , Hideki Tokuhisa 他	循環器内科	Renal iodine123-metaiodobenzylguanidine scintigraphy relates to muscle sympathetic nervous activity in heart failure with reduced ejection fraction.	Auton Neurosci. 2020 Jul;226:102671. doi: 10.1016/j.autneu.2020.102671. Epub 2020 Mar 31	Original Article	
39	Nobuko Kojima , Hayato Tada , Soichiro Usui 他	循環器内科	Serum sitosterol level predicting ABCG5 or ABCG8 genetic mutations.	Clin Chim Acta. 2020 Aug;507:11-16. doi: 10.1016/j.cca.2020.04.003. Epub 2020 Apr 8	Original Article	
40	Hayato Tada , Mika Hori , Akihiro Nomura 他	循環器内科	A catalog of the pathogenic mutations of LDL receptor gene in Japanese familial hypercholesterolemia	J Clin Lipidol. 2020 May-Jun;14(3):346-351	Original Article	5件

41	Hayato Tada , Soichiro Usui , Kenji Sakata 他	循環器内科	Low-Density Lipoprotein Cholesterol Level cannot be too Low: Considerations from Clinical Trials, Human Genetics, and Biology	J Atheroscler Thromb. 2020 Jun 1;27(6):489-498	Review	
42	Chiaki Goten , Soichiro Usui , Takuto Hamaoka 他	循環器内科	A case of pulmonary arterial hypertension with chronic hepatitis that resulted in hepatosplenomegaly after administration of prostaglandin I2.		Case report	
43	Hayato Tada , Masayuki Takamura , Masa-Aki Kawashiri	循環器内科	Genomics of hypertriglyceridemia	Adv Clin Chem. 2020;97:141-169	Review	
44	Hayato Tada , Masayuki Takamura , Masa-Aki Kawashiri	循環器内科	What is the mechanism of genetic contributions to the development of atherosclerosis?	Atherosclerosis. 2020 Aug;307:72-74	Others	
45	Akio Chikata , Takeshi Kato , Kazuo Usuda 他	循環器内科	Prolongation of QT interval after pulmonary vein isolation for paroxysmal atrial fibrillation.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2020 Sep;31(9):2371-2379	Original Article	5件

46	Takuto Hamaoka , Hisayoshi Murai , Shigeo Takata 他	循環器内科	Different prognosis between severe and very severe obstructive sleep apnea patients; Five year outcomes.	J Cardiol. 2020 Dec;76(6):573-579. doi: 10.1016/j.jjcc.2020.06.010. Epub 2020 Jun 30	Original Article	
47	Oto Inoue , Kosei Yamaguchi , Masayuki Takamura	循環器内科	Novel Players and a Target of Stem Cell Therapy for the Heart.	Circ J. 2020 Jul 22;84(8):1230-1231. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0656.. Epub 2020 Jul 11	Others	
48	Hayato Tada , Kan Yamagami , Tetsuo Nishikawa 他	循環器内科	Lipoprotein (a) and the Risk of Chronic Kidney Disease in Hospitalized Japanese Patients	Intern Med. 2020;59(14):1705-1710	Original Article	
49	Hayato Tada , Noboru Fujino , Akihiro Nomura 他	循環器内科	Personalized medicine for cardiovascular diseases	J Hum Genet. 2021 Jan;66(1):67-74	Review	
50	Hayato Tada , Masayuki Takamura , Masa-Aki Kawashiri	循環器内科	Targeted Panel Sequencing will Boost Detection of Genetic Backgrounds of Familial Hypercholesterolemia in the World's Most Populous Country	J Atheroscler Thromb. 2020 Dec 1;27(12):1261-1263	Others	5件

51	Yoshihiro Tanaka , Hayato Tada , Satoshi Hara 他	循環器内科	Association of proteinuria with incident atrial fibrillation in the general Japanese population.	J Cardiol. 2021 Jan;77(1):100-105. doi: 10.1016/j.jjcc.2020.08.001. Epub 2020 Aug 23	Original Article	
52	Hayato Tada , Hirofumi Okada , Shohei Yoshida 他	循環器内科	Hokuriku-plus familial hypercholesterolaemia registry study: rationale and study design	BMJ Open. 2020 Sep 10;10(9):e038623	Others	
53	Akio Chikata , Takeshi Kato , Hiroaki Nakagoe 他	循環器内科	Correlation between estimated balloon contact by computer-aided engineering analysis and lesion area by hot balloon ablation.	J Interv Card Electrophysiol. 2021 Mar;60(2):353-354. doi: 10.1007/s10840-020-00862-3. Epub 2020 Sep 10	Case report	
54	Noboru Fujino , Kenshi Hayashi , Kenji Sakata 他	循環器内科	Transient swallowing-induced atrial tachycardia in a patient with genotyped hypertrophic cardiomyopathy.	Clin Case Rep. 2020 Jun 8;8(9):1809-1813. doi: 10.1002/ccr3.3015. eCollection 2020 Sep	Case report	
55	Tetsuo Nishikawa , Hayato Tada , Tamami Nakagawa-Kamiya 他	循環器内科	A case with familial hypercholesterolemia complicated with severe systemic atherosclerosis intensively treated for more than 30 years.	J Cardiol Cases. 2020 Jun 30;22(5):216-220. doi: 10.1016/j.jccase.2020.06.012. eCollection 2020 Nov	Case report	5件

56	Hayato Tada , Hirofumi Okada , Akihiro Nomura 他	循環器内科	A reassessment of the Japanese clinical diagnostic criteria of familial hypercholesterolemia in a hospital-based cohort using comprehensive genetic analysis	Pract Lab Med. 2020 Oct 19;22:e00180	Original Article	
57	Hayato Tada , Junichi Shibayama , Tetsuo Nishikawa 他	循環器内科	Prevalence, self-awareness, and LDL cholesterol levels among patients highly suspected as familial hypercholesterolemia in a Japanese community.	Pract Lab Med. 2020 Oct 19;22:e00181. doi: 10.1016/j.plabm.2020.e00181. eCollection 2020 Nov	Original Article	
58	Akio Chikata , Takeshi Kato , Shuhei Fujita 他	循環器内科	Box Isolation of the Confluence of 3 Pulmonary Veins, a Rare Variant of the Common Pulmonary Vein.	Circ J. 2020 Dec 25;85(1):81. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0968. Epub 2020 Nov 21	Case report	
59	Hayato Tada , Soichiro Usui , Kenji Sakata 他	循環器内科	Challenges of Precision Medicine for Atherosclerotic Cardiovascular Disease Based on Human Genome Information.	J Atheroscler Thromb. 2021 Apr 1;28(4):305-313. doi: 10.5551/jat.60087. Epub 2020 Nov 21	Review	
60	Hayato Tada , Hirofumi Okada , Akihiro Nomura 他	循環器内科	Clinical Diagnostic Criteria of Familial Hypercholesterolemia - A Comparison of the Japan Atherosclerosis Society and Dutch Lipid Clinic Network Criteria.	.Circ J. 2021 May 25;85(6):891-897. doi: 10.1253/circj.CJ-20-0901. Epub 2020 Dec 3	Original Article	5件

61	Shinichiro Takashima , Soichiro Usui , Oto Inoue 他	循環器内科	Myocyte-specific enhancer factor 2c triggers transdifferentiation of adipose tissue-derived stromal cells into spontaneously beating cardiomyocyte-like cells.	.Sci Rep. 2021 Jan 15;11(1):1520. doi: 10.1038/s41598-020-80848-3	Original Article	
62	Hayato Tada , Hirofumi Okada , Akihiro Nomura 他	循環器内科	Prognostic impact of cascade screening for familial hypercholesterolemia on cardiovascular events.	.J Clin Lipidol. 2021 Mar-Apr;15(2):358-365. doi: 10.1016/j.jacl.2020.12.012. Epub 2021 Jan 4	Original Article	
63	Akio Chikata , Takeshi Kato , Kazuo Usuda 他	循環器内科	Torsade de Pointes Due to QT Prolongation after Pulmonary Vein Isolation for Persistent Atrial Fibrillation.	Intern Med. 2021 Jul 1;60(13):2089-2092. doi: 10.2169/internalmedicine.6627-20. Epub 2021 Feb 1	Case report	
64	Yoshihiro Tanaka , Hayato Tada , Rikuta Hamaya 他	循環器内科	First-degree atrioventricular block is significantly associated with incident atrial fibrillation in the population predominantly including participants aged≧60 years.	Greenland P.Heart Vessels. 2021 Feb 17. doi: 10.1007/s00380-021-01805-2. Online ahead of print	Original Article	
65	Hayato Tada , Masayuki Takamura , Masa-Aki Kawashiri	循環器内科	Familial Hypercholesterolemia: A Narrative Review on Diagnosis and Management Strategies for Children and Adolescents.	Vasc Health Risk Manag. 2021 Feb 17;17:59-67. doi: 10.2147/VHRM.S266249. eCollection 2021	Review	5件

66	Chiaki Goten , Soichiro Usui , Shin-Ichiro Takashima 他	循環器内科	Circulating nerve growth factor receptor positive cells are associated with severity and prognosis of pulmonary arterial hypertension.	Pulm Circ. 2021 Feb 9;11(1):2045894021990525. doi: 10.1177/2045894021990525. eCollection 2021 Jan-Mar	Original Article	
67	Tamami Nakagawa-Kamiya , Mika Mori , Miho Ohira 他	循環器内科	Intimal Sarcoma: An Extremely Rare Case of a Left Atrial Tumor with Partial Obstruction of the Mitral Orifice.	.CASE (Phila). 2021 Feb 5;5(2):93-96. doi: 10.1016/j.case.2020.12.009. eCollection 2021 Apr	Case report	
68	Hayato Tada , Kan Yamagami , Nobuko Kojima 他	循環器内科	Prevalence and Impact of Apolipoprotein E7 on LDL Cholesterol Among Patients With Familial Hypercholesterolemia.	Front Cardiovasc Med. 2021 Apr 13;8:625852. doi: 10.3389/fcvm.2021.625852. eCollection 202	Original Article	
69	Yasunori Iwata , Norihiko Sakai , Ikuko Yoneda 他	腎臓内科	The increased frequency of methicillin-resistant Staphylococcus aureus with low MIC of beta-lactam antibiotics isolated from hospitalized patients.	J Infect Chemother. 2020 Jun;26(6):604-610.	Original Article	
70	Masayuki Yamanouchi , Kengo Furuichi , Junichi Hoshino 他	腎臓内科	Nonproteinuric Diabetic Kidney Disease.	Clin Exp Nephrol. 2020 Jul;24(7):573-581	Original Article	5件

71	Akinori Hara , Miho Shimizu , Erika Hamaguchi 他	腎臓内科	Propagermanium administration for patients with type 2 diabetes and nephropathy: A randomized pilot trial.	Endocrinol Diabetes Metab. 2020 Jun 12;3(3):e00159.	Original Article	
72	Takashi Wada , Akinori Hara , Eri Muso 他	腎臓内科	Effects of LDL apheresis on proteinuria in patients with diabetes mellitus, severe proteinuria, and dyslipidemia.	Clin Exp Nephrol. 2021 Jan;25(1):1-8.	Original Article	
73	Taito Miyake , Norihiko Sakai , Akira Tamai 他	腎臓内科	Trehalose ameliorates peritoneal fibrosis by promoting Snail degradation and inhibiting mesothelial-to-mesenchymal transition in mesothelial cells.	Sci Rep. 2020 Aug 31;10(1):14292.	Original Article	
74	Akinori Hara , Hiromasa Tsujiguchi , Keita Suzuki 他	腎臓内科	Relationship between handgrip strength and albuminuria in community-dwelling elderly Japanese subjects: The Shika study.	Biomarkers. 2020 Nov;25(7):587-593.	Original Article	
75	Takashi Wada , Masaya Inagaki , Toru Yoshinari 他	腎臓内科	Apararenone in patients with diabetic nephropathy: results of a randomized, double-blind, placebo-controlled phase 2 dose-response study and open-label extension study.	Clin Exp Nephrol. 2021 Feb;25(2):120-130.	Original Article	5件

76	Keisuke Horikoshi , Norihiko Sakai , Naoki Yamamoto 他	腎臓内科	A case of minimal change disease after the administration of anti receptor activator of nuclear factor kappa B ligand (RANKL) monoclonal antibody: a case report.	BMC Nephrol. 2020 Sep 29;21(1):416.	Case report	
77	Megumi Oshima , Brendon L Neuen , JingWei Li 他	腎臓内科	Early Change in Albuminuria with Canagliflozin Predicts Kidney and Cardiovascular Outcomes: A PostHoc Analysis from the CREDENCE Trial.	J Am Soc Nephrol. 2020 Dec;31(12):2925-2936.	Original Article	
78	Megumi Oshima , Brendon L Neuen , Meg J Jardine 他	腎臓内科	Effects of canagliflozin on anaemia in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease: a post-hoc analysis from the CREDENCE trial.	Lancet Diabetes Endocrinol. 2020 Nov;8(11):903-914.	Original Article	
79	Taro Miyagawa , Yasunori Iwata , Megumi Oshima 他	腎臓内科	Polyarteritis nodosa with perirenal hematoma due to the rupture of a renal artery aneurysm.	CEN Case Rep 10(2):244-249, 2021	Case report	
80	Tadashi Toyama , Kiyoki Kitagawa , Megumi Oshima 他	腎臓内科	Age Differences in the Relationships between Risk Factors and Loss of Kidney Function: A General Population Cohort Study.	BMC Nephrol. 2020 Nov 13;21(1):477	Original Article	5件

81	Yasunori Iwata , Shinji Kitajima , Junya Yamahana 他	腎臓内科	Higher serum levels of autotaxin and phosphatidylserine-specific phospholipase A 1 in patients with lupus nephritis.	Int J Rheum Dis. 2021 Feb;24(2):231-239.	Original Article	
82	Taichiro Minami , Yasunori Iwata , Takashi Wada	腎臓内科	Renal complications in coronavirus disease 2019: a systematic review.	Inflamm Regen. 2020 Dec 15;40(1):31.	Review	
83	Yasunori Iwata , Norihiko Sakai , Ikuko Yoneda 他	腎臓内科	D-Serine inhibits the attachment and biofilm formation of methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Jan 22;537:50-56	Original Article	
84	Yoshiyasu Miyajima , Tadashi Toyama , Mika Mori 他	腎臓内科	Relationships between kidney dysfunction and left ventricular diastolic dysfunction: a hospital-based retrospective study.	J Nephrol 34(3):773-780, 2020	Original Article	
85	Megumi Oshima , Akinori Hara , Tadashi Toyama 他	腎臓内科	Comparison of Circulating Biomarkers in Predicting Diabetic Kidney Disease Progression With Autoantibodies to Erythropoietin Receptor.	Kidney Int Rep. 2020 Nov 10;6(2):284-295.	Original Article	5件

86	Akinori Hara , Hiromasa Tsujiguchi , Keita Suzuki 他	腎臓内科	Gender difference in the association of dietary intake of antioxidant vitamins with kidney function in middle-aged and elderly Japanese.	J Nutr Sci. 2021 Jan 22;10:e2.	Original Article	
87	Masahisa Arahata , Hiroyuki Takamatsu , Eriko Morishita 他	血液内科	Coagulation and fibrinolytic features in AL amyloidosis with abnormal bleeding and usefulness of tranexamic acid.	Int J Hematol 2020 Apr; 111: 550-558	Original Article	
88	Hong He , Yukio Kondo , Ken Ishiyama 他	血液内科	Two unique HLA-A*0201 restricted peptides derived from cyclin E as immunotherapeutic targets in leukemia.	Leukemia 34(6) 1626-1636.	Original Article	
89	Shinya Yamada , Hirokazu Okumura , Eriko Morishita 他	血液内科	Complete hemostasis achieved by factor XIII concentrate administration in a patient with bleeding after teeth extraction as a complication of aplastic anemia and chronic disseminated intravascular coagulation.	Blood Coagul Fibrinolysis 2020 Jun; 31: 274-278	Case report	
90	Tomoki Togashi , Makiko Meguro-Horike , Satomi Nagaya 他	血液内科	Molecular genetic analysis of inherited protein C deficiency caused by the novel large deletion across two exons of PROC.	Thromb Res 2020 Apr; 188: 115-118	Original Article	5件

91	Hidesaku Asakura , Haruhiko Ogawa	血液内科	Potential of heparin and nafamostat combination therapy for COVID-19.	J Thromb Haemost 2020 Jun; 18: 1521-1522	Letter	
92	Hiroki Mizumaki , Kazuyoshi Hosomichi , Kohei Hosokawa 他	血液内科	A frequent nonsense mutation in exon 1 across certain HLA-A and -B alleles in leukocytes of patients with acquired aplastic anemia.	Haematologica. 2021 Jun 1;106(6):1581-1590	Original Article	
93	Kohei Hosokawa , Hirohito Yamazaki , Mikoto Tanabe 他	血液内科	High-dose romiplostim accelerates hematologic recovery in patients with aplastic anemia refractory to eltrombopag.	Leukamia. 2021 Mar; 35(3):906-909	Original Article	
94	Mai Anh Thi Nguyen , Kohei Hosokawa , Takeshi Yoroidaka 他	血液内科	Resistance of KIR Ligand-Missing Leukocytes to NK Cells In Vivo in Patients with Acquired Aplastic Anemia.	Immunohorizons. 2020 Jul 4(7):430-441.	Original Article	
95	Hidesaku Asakura , Haruhiko Ogawa	血液内科	Perspective on fibrinolytic therapy in COVID-19: The potential of inhalation therapy against suppressed-fibrinolytic-type DIC	J Intensive Care. 2020 Sep 8:71.	Original Article	5件

96	Hidesaku Asakura , Haruhiko Ogawa	血液内科	Overcoming bleeding events related to extracorporeal membrane oxygenation in COVID-19.	Lancet Respir Med 2020 Dec; 8(12): e87-8	Others	
97	Hidesaku Asakura	血液内科	Diversity of disseminated intravascular coagulation and selection of appropriate treatments	Int J Hematol. 2021 Jan;113:10-14.	Others	
98	Hidesaku Asakura , Haruhiko Ogawa	血液内科	COVID-19 associated coagulopathy and disseminated intravascular coagulation.	Int J Hematol. 2021 Jan;113:45-57.	Review	
99	Shinya Yamada , Hidesaku Asakura	血液内科	Management of disseminated intravascular coagulation associated with aortic aneurysm and vascular malformations	Int J Hematol. 2021 Jan;113: 15-23.	Review	
100	Kohei Hosokawa , Go Aoki , Kinya Ohata 他	血液内科	Effectiveness of hyperbaric oxygen therapy for virus-associated hemorrhagic cystitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol. 114(1);109-115	Original Article	5件

101	Kohei Hosokawa , Hiroki Mizumaki , Takeshi Yoroidaka 他	血液内科	HLA class I allele-lacking leukocytes predict rare clonal evolution to MDS/AML in patients with acquired aplastic anemia.	Blood, 2021; inpress	Original Article	
102	Takeshi Yoroidaka , Kohei Hosokawa , Tatsuya Imi 他	血液内科	Hematopoietic stem progenitor cells lacking HLA differ from those lacking GPI-anchored proteins in the hierarchical stage and sensitivity to immune attack in patients with acquired aplastic anemia.	Leukemia 2021; in press.	Original Article	
103	Keiko Ogawa-Ochiaia , Takamasa Katagiri , Yuki Sato 他	血液内科	Natural killer cell function changes by the Japanese Kampo Medicine Juzentaihoto in General fatigue patients: an open label study.	Advances in integrative medicine 2021 Mar; 8(1) 33-43.	Original Article	
104	Yasutake Tada , Tsuyoshi Hamaguchi , Yoshihisa Ikeda 他	脳神経内科	Chorea-acanthocytosis with a novel mutation in the vacuolar protein sorting 13 homolog a gene: a case report.	J Neurol Sci, 2020 May	Case report	
105	Keiko Nakamura-Shindo , Kenjiro Ono , Kishin Koh 他	脳神経内科	A novel mutation in the GBA2 gene in a Japanese patient with SPG46: A case report.	eNeurologicalSci , 2020 Apr	Case report	5件

106	Yuta Usui , Hiroto Nakano , Junji Komatsu 他	脳神経内科	Progressive multifocal leukoencephalopathy during treatment with lenalidomide and elotuzumab for multiple myeloma.	Leuk Lymphoma, 2020 Sep	Case report	
107	Yoshihisa Ikeda , Mitsuru Kikuchi , Moeko Noguchi-Shinohara 他	脳神経内科	Spontaneous MEG activity of the cerebral cortex during eyes closed and open discriminates Alzheimer's disease from cognitively normal older adults.	Sci Rep , 2020 Jun	Original Article	
108	Kenji Sakai , Tsuyoshi Hamaguchi , Nobuo Sanjo 他	脳神経内科	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging in dura mater graft-associated Creutzfeldt-Jakob disease.	J Neurol Sci , 2020 Nov	Original Article	
109	Tsuyoshi Hamaguchi , Nobuo Sanjo , Ryusuke Ae 他	脳神経内科	MM2 type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease: new diagnostic criteria for MM2-cortical type.	J Neurol Neurosurg Psychiatry, 2020 Aug	Original Article	
110	Moeko Noguchi-Shinohara , Kenjiro Ono , Tsuyoshi Hamaguchi 他	脳神経内科	Safety and efficacy of Melissa officinalis extract containing rosmarinic acid in the prevention of Alzheimer's disease progression.	Sci Rep, 2020 Oc	Original Article	5件

111	Kenji Sakai , Moeko Noguchi-Shinohara , Tokuhei Ikeda 他	脳神経内科	Cerebrospinal fluid cytokines and metalloproteinases in cerebral amyloid angiopathy-related inflammation.	Acta Neurol Scand , 2020 Dec	Original Article	
112	Moeko Noguchi-Shinohara , Chiaki Domoto , Taketoshi Yoshida 他	脳神経内科	A new computerized assessment battery for cognition (C-ABC) to detect mild cognitive impairment and dementia around 5 min.	PLoS One, 2020 Dec	Original Article	
113	Takenobu Kashihara , Ichiro Nozaki , Kenji Sakai 他	脳神経内科	Recovery from multidisciplinary therapy-refractory anti-NMDA receptor encephalitis after over three years of mechanical ventilation.	Clin Neurol Neurosurg , 2021 Jan	Case report	
114	Kyung-min An , Chiaki Hasegawa , Tetsu Hirosawa 他	神経科精神科	Brain responses to human-voice processing predict child development and intelligence.	Hum Brain Mapp. 41(9):2292-2301、2020.6. 15	Original Article	
115	Yasuki Ono , Kiwamu Kudoh , Takashi Ikeda 他	神経科精神科	Auditory steady-state response at 20Hz and 40Hz in young typically developing children and children with autism spectrum disorder.	Psychiatry Clin Neurosci.74(6):354-361、2020 .6	Original Article	5件

116	Tetsu Hirosawa , Paul F Sowman , Mina Fukai 他	神経科精神科	Relationship between epileptiform discharges and social reciprocity or cognitive function in children with and without autism spectrum disorders: An MEG study.	Psychiatry Clin Neurosci.74(9):510-511、2020.9	Original Article	
117	Tetsu Hirosawa , Keiko Kontani , Mina Fukai 他	神経科精神科	Different associations between intelligence and social cognition in children with and without autism spectrum disorders.	PLoS One.15(8):e0235380、2020.8.21	Original Article	
118	Naoki Furutani , Yuta Nariya , Tetsuya Takahashi 他	神経科精神科	Neural Decoding of Multi-Modal Imagery Behavior Focusing on Temporal Complexity.	Front Psychiatry. 11:746、2020.7. 30	Original Article	
119	Yuko Yoshimura , Mitsuru Kikuchi , Daisuke N. Saito 他	神経科精神科	Markers for the central serotonin system correlate to verbal ability and paralinguistic social voice processing in autism spectrum disorder.	Sci Rep.10(1):14558、2020.9.3	Original Article	
120	Naoki Furutani , Yuta Nariya , Tetsuya Takahashi 他	神経科精神科	Decomposed Temporal Complexity Analysis of Neural Oscillations and Machine Learning Applied to Alzheimer's Disease Diagnosis. Front Psychiatry.	Front Psychiatry. 11:531801、2020.9.3	Original Article	5件

121	Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Takashi Ikeda 他	神経科精神科	The maturation of the P1m component in response to voice from infancy to 3 years of age: A longitudinal study in young children.	Brain Behav.10 (8):e01706、2020.8	Original Article	
122	Yoshihisa Ikeda , Mitsuru Kikuchi , Moeko Noguchi-Shinohara 他	神経科精神科	Spontaneous MEG activity of the cerebral cortex during eyes closed and open discriminates Alzheimer's disease from cognitively normal older adults.	Sci Rep. 10(1):9132、2020.6.4	Original Article	
123	Ziqiao Lin , Hiromi Nishikawa , Yoshio Iguchi 他	神経科精神科	Sustaining temporal attention prevents habit expression during operant learning in rats.	Scientific Reports.10303、2020.6. 25	Original Article	
124	Tetsumori Yamashima , Tsuguhito Ota , Eishiro Mizukoshi 他	神経科精神科	Intake of ω-6 Polyunsaturated Fatty Acid-Rich Vegetable Oils and Risk of Lifestyle Diseases.	Advances in nutrition 11: 1489-1509、2020.7.4	Original Article	
125	Hashimoto T, Lewis DA	神経科精神科	GABAergic Mechanisms in Psychosis In: Tamminga CA, Ivleva EI, Reininghas U, Van Os J, eds. Dimensions of Psychosis: Comprehensive Conceptualization and Treatments.	New York, NY: Oxford University Press 297-305、2020.11	Others	5件

126	Hirokazu Kumazaki , Taro Muramatsu , Yuichiro Yoshikawa 他	神経科精神科	Optimal robot for intervention for individuals with autism spectrum disorders.	Psychiatry Clin Neurosci. 74(11):581-586、2020 .11	Original Article	
127	Sanae Tanaka , Aiko Komagome , Aya Iguchi-Sherry 他	神経科精神科	Participatory Art Activities Increase Salivary Oxytocin Secretion of ASD Children.	Brain Sci. 10(10):680、2020.9.27	Original Article	
128	Tadafumi Yokoyama , Yuta Takemura , Hitoshi Irabu 他	小児科	Clinical Characteristics of Pediatric Pyelonephritis Without Pyuria or Bacteriuria.	Pediatr Infect Dis J. 2020; 39: 385-388.	Original Article	
129	Hitoshi Irabu , Masaki Shimizu , Shuya Kaneko 他	小児科	Apoptosis inhibitor of macrophage as a biomarker for disease activity in Japanese children with IgA nephropathy and Henoch-Schönlein purpura nephritis.	Pediatr Res. 2021; 89: 667-672.	Original Article	
130	Natsumi Inoue , Masaki Shimizu , Mao Mizuta 他	小児科	Successful treatment of tumor necrosis factor inhibitor- resistant cutaneous polyarteritis nodosa with tocilizumab.	Pediatr Int. 2020; 62: 753-755.	Case report	5件

131	Hitoshi Irabu , Masaki Shimizu , Shuya Kaneko 他	小児科	Clinical Significance of Serum Galactose-Deficient IgA1 Level in Children with IgA Nephropathy.	J Immunol Res. 2020; 2020: 4284379.	Original Article	
132	Tadafumi Yokoyama , Mari Yamamiya , Maiko Takakuwa 他	小児科	Recurrent painful ophthalmoplegic neuropathy.	J Paediatr Child Health. 2020 Sep 1.	Case report	
133	Natsumi Inoue , Tadafumi Yokoyama , Naoto Sakumura 他	小児科	A Bladder Mass in a Patient with Henoch-Schönlein Purpura.	J Pediatr. 2021; 231: 289-290.	Case report	
134	Tadafumi Yokoyama , Bernadette R Gochuico	小児科	Hermansky-Pudlak syndrome pulmonary fibrosis: a rare inherited interstitial lung disease.	Eur Respir Rev. 2021; 30: 200193.	Review	
135	Akihiro Yachie	小児科	Heme Oxygenase-1 Deficiency and Oxidative Stress: A Review of 9 Independent Human Cases and Animal Models.	Int J Mol Sci. 2021; 22: 1514.	Review	5件

136	Kenichiro Okumura , Haruhiko Ogawa , Yuichi Yoshie 他	放射線科	Mucus plugs and bronchial wall thickening on three-dimensional computed tomography in patients with unexplained chronic cough whose sputum yielded filamentous Basidiomycetes	Eur Radiol.	Original Article	
137	Azusa Kitao , Osamu Matsui , Norihide Yoneda 他	放射線科	Gadoxetic acid-enhanced MR imaging for hepatocellular carcinoma: molecular and genetic background	Eur Radiol.	Review	
138	Kazuto Kozaka , Satoshi Kobayashi , Hiroyuki Takamura 他	放射線科	Differences in 18F-FDG Uptake and Expression of Glucose Transporter Between 2 Distinct Subtypes of Mass-Forming Intrahepatic Cholangiocarcinomas	Clin Nucl Med.	Original Article	
139	Kazuto Kozaka , Shannon P Sheedy , John E Eaton 他	放射線科	Magnetic resonance imaging features of small-duct primary sclerosing cholangitis	Abdom Radiol (NY).	Original Article	
140	Kanako Terada , Takahiro Ogi , Norihide Yoneda 他	放射線科	Coil-assisted retrograde transvenous obliteration (CARTO) for the treatment of gastric varices via a single access route using steerable microcatheter: a case report	CVIR Endovasc.	Case report	5件

141	Takayuki Sakurai , Shigeyuki Takamatsu , Satoshi Shibata 他	放射線科	Toxicity and clinical outcomes of single-fraction high-dose-rate brachytherapy combined with external beam radiotherapy for high-/very high-risk prostate cancer: A dosimetric analysis of toxicity	Jpn J Radiol.	Original Article	
142	Miho Okuda , Satoshi Kobayashi , Toshifumi Gabata 他	放射線科	Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma Arising in a Fibrous Dysplasia Confirmed by GNAS Mutation Analysis: A Case Report	JBJS Case Connect. 2020 Oct 16;10(4):e20.00157. doi: 10.2106/JBJS.CC.20.00157.	Case report	
143	Yasuhito Hamaguchi , Masataka Kuwana , Kazuhiko Takehara	皮膚科	Performance evaluation of a commercial line blot assay system for detection of myositis- and systemic sclerosis-related autoantibodies	Clin Rheumatol. 2020 Nov;39(11):3489-3497	Original Article	
144	Kaori Sawada , Tomoyo Sawada , Tadahiro Kobayashi 他	皮膚科	A Case of anti-BP230 Antibody-Positive Bullous Pemphigoid Receiving DPP-4 Inhibitor	Immunol Med. 2021 Mar;44(1):53-55	Case report	
145	Miho Miyake , Takashi Matsushita , Kazuhiko Takehara 他	皮膚科	Clinical features of Japanese systemic sclerosis (SSc) patients negative for SSc-related autoantibodies: A single-center retrospective study	Int J Rheum Dis. 2020 Aug;23(9):1219-1225	Original Article	5件

146	Yasuhito Hamaguchi , Naoki Mugii , Takashi Matsushita 他	皮膚科	Long-term changes in nail fold capillary abnormalities and serum fibroblast growth factor 23 levels in dermatomyositis patients with anti-melanoma differentiating antigen 5 antibody	J Dermatol. 2021 Jan;48(1):106-109	Case report	
147	Natsumi Fushida , Tadahiro Kobayashi , Kyosuke Oishi 他	皮膚科	A case of anti-NXP2 antibody-positive dermatomyositis with improvement of clinical symptoms and disappearance of autoantibody after resection of uterine cancer	Eur J Dermatol. 2020 Oct 1;30(5):612-613	Original Article	
148	Motoki Horii , Takashi Matsushita	皮膚科	Regulatory B cells and T cell Regulation in Cancer	J Mol Biol. 2021 Jan 8;433(1):166685	Review	
149	Tadahiro Kobayashi , Sara Matsumoto , Kyoko Shimizu 他	皮膚科	Discrepancy in responses to dabrafenib plus trametinib combination therapy in intracranial and extracranial metastases in melanoma patients	J Dermatol. 2021 Feb;48(2):e82-e83	Letter	
150	Tasuku Kitano , Masaharu Nakao , Kyosuke Oishi 他	皮膚科	A case of lymphoma-associated haemophagocytic syndrome in advanced-stage mycosis fungoides	Eur J Dermatol. 2020 Oct 1;30(5):606-608	Original Article	5件

151	Kyosuke Oishi , Kyoko Shimizu , Kouhei Takehara 他	皮膚科	A case of anti-OJ antibody-positive polymyositis with marked muscle involvement and interstitial lung disease	J Cutan Immunol Allergy	Case report	
152	Shintaro Takago , Hiroki Kato , Yoshitaka Yamamoto 他	心臓血管外科	Thoracic endovascular aortic repair for an ascending aortic pseudoaneurysm.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2020 Jul;28(6):330-332.	Case report	
153	Shintaro Takago , Kenji Iino , Naoki Saito 他	心臓血管外科	Hypothermic preservation of rat hearts using antifreeze glycoprotein	Physiol Res.2020 Dec 22;69(6):1029-1038.	Original Article	
154	Kenji Iino , Shintaro Takago , Naoki Saito 他	心臓血管外科	Total arch replacement and frozen elephant trunk for acute type A aortic dissection.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Nov 24:S0022-5223(20)33094-4	Case report	
155	Masaya Tamura , Isao Matsumoto , Yusuke Tanaka 他	呼吸器外科	Prognostic factor and treatment strategy for clinical N1 non-small cell lung cancer	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Mar;68(3):261−265	Case report	5件

156	Yusuke Tanaka , Isao Matsumoto , Munehisa Takata 他	呼吸器外科	Vitamin B2 lung-marking method using black light irradiation	J Thorac Dis. 2020 Mar;12(3):651-658.	Original Article	
157	Masaya Tamura , Isao Matsumoto , Daisuke Saito 他	呼吸器外科	Dynamic chest radiography: Novel and less-invasive imaging approach for preoperative assessments of pleural invasion and adhesion	Radiol Case Rep. 2020 Apr 6;15(6):702-704.	Case report	
158	Seiichi Kakegawa , Isao Matsumoto , Masaya Tamura 他	呼吸器外科	Semi-comprehensive analysis of gene amplification in thymic malignant tumors using multiplex ligation-dependent probe amplification and fluorescence in situ hybridization	Int J Clin Exp Pathol. 2020 May 1;13(5):1035-1044	Case report	
159	Masaya Tamura , Isao Matsumoto , Daisuke Saito 他	呼吸器外科	Case report: uniportal video-assisted thoracoscopic resection of a solitary fibrous tumor preoperatively predicted visceral pleura origin using dynamic chest radiography	J Cardiothorac Surg. 2020 Jul 8;15(1):166.	Case report	
160	Daisuke Saito , Isao Matsumoto , Ryuichi Waseda 他	呼吸器外科	A method to identify pulmonary intersegmental planes with intravenous vitamin B 2 injection	Surg Today. 2021 May;51(5):836-843.	Original Article	5件

161	Nobuhiro Tanaka , Ryuichi Waseda , Daisuke Saito 他	呼吸器外科	A novel fluorescent lung-marking technique using the photodynamic diagnosis endoscope system and vitamin B2	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2020 Dec 7;31(6):853-859.	Original Article	
162	Hideki Moriyama , Mari Shimada , Shuhei Yoshida 他	胃腸外科	Reoperation with laparoscopic mesh repair for recurrentlumbar hernia due to iliac crest bone harvest	Asian Journal of Endoscopic Surgery･2021.01	Case report	
163	Katsuya Gunjigake , Jun Kinoshita , Takahisa Yamaguchi 他	胃腸外科	Interleukin-17A derived from mast cells contributes to fibrosis in gastric cancer with peritoneal dissemination	Gastric Cancer･2020.06	Original Article	
164	Takahisa Yamaguchi , Sachio Fushida , Jun Kinoshita 他	胃腸外科	Extravasated platelet aggregation contributes to tumor progression via the accumulation of myeloid derived suppressor cells in gastric cancer with peritoneal metastasis	Oncology Letters･2020.08	Original Article	
165	Yuta Fujiwara , Koichi Okamoto , Itasu Ninomiya 他	胃腸外科	Surgically resected primary esophageal choriocarcinoma accompanied with Barrett's adenocarcinoma: a case report	Surgical Case Reports･2020.09	Case report	5件

166	Jun Kinoshita , Takahisa Yamaguchi , Hiroto Saito 他	胃腸外科	Comparison of prognostic impact of anatomic location of the pancreas on postoperative pancreatic fistula in laparoscopic and open gastrectomy	BMC Gastroenterology･2020.10	Original Article	
167	Daisuke Fujimori , Jun Kinoshita , Takahisa Yamaguchi 他	胃腸外科	Established fibrous peritoneal metastasis in an immunocompetent mouse model similar to clinical immune microenvironment of gastric cancer	BMC Cancer･2020.10	Original Article	
168	Yuka Ooea , Seisho Sakaia , Jun Kinoshita 他	胃腸外科	Severe acute pancreatitis caused by adhesive intestinal obstruction following fundoplication	Journal of Pediatric Surgery Case Reports･In progress(October2020)	Case report	
169	Mitsuyoshi Okazaki , Hidehiro Tajima , Yoshinao Ohbatake 他	肝胆膵移植外科	Pleomorphic rhabdomyosarcoma of the liver in an adult: a rare case report	BMC Surgery･2020.04	Case report	
170	Shunsuke Kanou , Tomoharu Miyashita , Yasuhiko Yamamoto 他	肝胆膵移植外科	Prophylactic Effect of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin for Hepatic Sinusoidal Obstruction Syndrome Model Mice	in vivo･2020.05	Original Article	5件

171	Tomokazu Tokoro , Isamu Makino , Shinichi Harada 他	肝胆膵移植外科	Interactions Between Neutrophils and Platelets in the Progression of Acute Pancreatitis	Pancreas･2020.07	Original Article	
172	Shinichi Nakanuma , Hidehiro Tajima , Hiroyuki Takamura 他	肝胆膵移植外科	Pretreatment with a Phosphodiesterase-3 Inhibitor, Milrinone, Reduces Hepatic Ischemia-Reperfusion Injury, Minimizing Pericentral Zone-Based Liver and Small Intestinal Injury in Rats	Ann Transplant･2020.07	Original Article	
173	Hideki Moriyama , Keiichi Kimura , Shintaro Takago 他	肝胆膵移植外科	Aortoduodenal Fistula After Endovascular Aortic Repair for an Inflammatory Abdominal Aortic Aneurysm: A Case Report	Vascular and Endovascular Surgery･2021.01	Case report	
174	Makoto Nakura , Tomoharu Miyashita , Yasuhiko Yamamoto 他	肝胆膵移植外科	Inhibitory Effects of Beraprost Sodium in Murine Hepatic Sinusoidal Obstruction Syndrome	Anticancer Res.･2020.09	Original Article	
175	Ryosuke Gabata , Kenichi Harada , Yuki Mizutani 他	肝胆膵移植外科	Anti-tumor Activity of the Small Molecule Inhibitor PRI-724 Against β-Catenin-activated Hepatocellular Carcinoma	Anticancer Research･2020.09	Original Article	5件

176	Mitsuyoshi Okazaki , Takahisa Yamaguchi , Hidehiro Tajima 他	肝胆膵移植外科	Platelet adherence to cancer cells promotes escape from innate immune surveillance in cancer metastasis	International Journal of Oncology･2020.07	Original Article	
177	Hidehiro Tajima , Isamu Makino , Ryosuke Gabata 他	肝胆膵移植外科	A phase I study of preoperative (neoadjuvant) chemotherapy with gemcitabine plus nab - paclitaxel for resectable pancreatic cancer	Molecular and Clinical Oncology･2021.02	Original Article	
178	Kengo Shimozaki , Junsuke Nakase , Takeshi Oshima 他	整形外科	Investigation of extrusion of the medial meniscus under full weight-loading conditions using upright weight-loading magnetic resonance imaging and ultrasonography	J Orthop Sci 25(4):652-657. 2020 Jul	Original Article	
179	Satoshi Kato , Anri Inaki , Hideki Murakami 他	整形外科	Reliability of the muscle strength measurement and effects of the strengthening by an innovative exercise device for the abdominal trunk muscles.	J Back Musculoskelet Rehabil 33(4):677-684.2020	Original Article	
180	Daisuke Inoue , Hamidreza Yazdi , Karan Goswami 他	整形外科	Comparison of Postoperative Complications and Survivorship of Total Hip and Knee Arthroplasty in Dialysis and Renal Transplantation Patients	J Arthroplasty 35(4):971-975.2020 Apr	Original Article	5件

181	Satoru Demura , Satoshi Kato , Kazuya Shinmura 他	整形外科	More Than 10-Year Follow-Up After Laminoplasty and Pedicle Screw Fixation for Cervical Myelopathy Associated with Athetoid Cerebral Palsy	Spine (Phila Pa 1976) 1;45(11):727-734. 2020 Jun	Original Article	
182	Noritaka Yonezawa , Hideki Murakami , Satoru Demura 他	整形外科	Perioperative Complications and Prognosis of Curative Surgical Resection for Spinal Metastases in Elderly Patients	World Neurosurg 137:e144-e151.2020 May	Original Article	
183	Kengo Shimozaki , Junsuke Nakase , Takeshi Oshima 他	整形外科	Partial Lateral Meniscus Anterior Root Injuries During Anatomical Single-Bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Are Likely to Occur in Women With Small Skeletons	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 28(11):3517-3523.2020 Nov	Original Article	
184	Ken Ueoka , Yoshitomo Kajino , Tamon Kabata 他	整形外科	The feasibility of iodine-supported processing for titanium with different surfaces.	J Orthop Sci 25(6):1095-1100. 2020 Nov	Original Article	
185	Daisuke Inoue , Camilo Restrepo , Blake Nourie 他	整形外科	Clinical Results of Revision Hip Arthroplasty for Neck-Taper Corrosion and Adverse Local Tissue Reactions Around a Modular Neck Stem	J Arthroplasty 35(6S):S289-S293.2020 Jun	Original Article	5件

186	Daisuke Inoue , Camilo Restrepo , Blake Nourie 他	整形外科	Patients With Modular-Neck Total Hip Arthroplasty: A Brief Five-Year Follow-Up Study	J Arthroplasty 35(6S):S268-S272. 2020 Jun	Original Article	
187	Daiki Yamamoto , Kaoru Tada , Seigo Suganuma 他	整形外科	Differentiated adipose-derived stem cells promote peripheral nerve regeneration	Muscle Nerve 62(1):119-127.2020 Jul	Original Article	
188	Yoshihiro Araki , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Cystic extraskeletal osteosarcoma: Three case reports and review of the literature	Mol Clin Oncol. 12(5):468-474.2020 May	Original Article	
189	Takuro Ueno , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Risk factors for pressure ulcers from the use of a pelvic positioner in hip surgery: a retrospective observational cohort study in 229 patients.	Patient Saf Surg. 7;14:10. 2020 Apr	Original Article	
190	Ai Hachinota , Kaoru Tada , Daiki Yamamoto 他	整形外科	Preventive Effect of Alginate Gel Formulation on Perineural Adhesion	J Hand Surg Asian Pac 25(2):164-171. 2020 Jun	Original Article	5件

191	Toshifumi Hikichi , Hidenori Matsubara , Shuhei Ugaji 他	整形外科	Large Osteochondral Defects of the Distal Tibia Plafond After Septic Arthritis of the Ankle Joint Treated by Arthrodiastasis and Iliac Bone Graft: A Case Report	J Foot Ankle Surg. 59(4):857-862.Jul-Aug 2020	Original Article	
192	Gang Xu , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	A comparison study: the accuracy of different FRAX tools in predicting fracture risk in Japan.	Jan-Apr 28(2):2309499020917276.2020 Jan-Apr	Original Article	
193	Kentaro Igarashi , Kei Kawaguchi , Norio Yamamoto 他	整形外科	A Novel Anionic-phosphate-platinum Complex Effectively Targets a Cisplatinum-resistant Osteosarcoma in a Patient-derived Orthotopic Xenograft Mouse Model	Cancer Genomics Proteomics 17(3):217-223. May-Jun 2020	Original Article	
194	Daisuke Inoue , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Postsurgical infection from using a computed tomography-based hip navigation system during total hip arthroplasty	Eur J Orthop Surg Traumatol 30(6):1097-1101. 2020 Aug	Original Article	
195	Takashi Ota , Satoru Demura , Satoshi Kato 他	整形外科	A comparison of bone conductivity on titanium screws inserted into the vertebra using different surface processing	J Exp Orthop 13;7(1):29.2020 May	Original Article	5件

196	Satoshi Kato , Satoru Demura , Kazuya Shinmura 他	整形外科	Clinical outcomes and survivals after total en bloc spondylectomy for metastatic leiomyosarcoma in the spine.	Eur Spine J 29(12):3237-3244.2020 Dec	Original Article	
197	Satoru Demura , Kota Watanabe , Teppei Suzuki 他	整形外科	Comparison of Pulmonary Function After Selective Anterior Versus Posterior Fusion for the Correction of Thoracolumbar and Lumbar Adolescent Idiopathic Scoliosis	Global spine journal 10(4):433-437. 2020 Jun	Original Article	
198	Satoshi Kato , Satoru Demura , Yuki Kurokawa 他	整形外科	Efficacy and safety of abdominal trunk muscle strengthening using an innovative device in elderly patients with chronic low back pain.	Ann Rehabil Med 44(3):246-255.2020 Jun	Original Article	
199	Takuro Ueno , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Anterior pelvic plane tilt poorly estimates the sagittal body alignment due to internal rotation of innominate bone.	J Orthop Res 39(3):580-589.2021 Mar	Original Article	
200	Ken Ueoka , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Patient-reported outcomes following primary total hip arthroplasty in Crowe type III or IV developmental dysplasia are comparable to those in Crowe type I: a case-control study of 96 hips with intermediate-term follow-up.	BMC Musculoskelet Disord 3;21(1):344.2020 Jun	Original Article	5件

201	Takaaki Ohmori , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Importance of Three-Dimensional Evaluation of Surgical Transepicondylar Axis in Total Knee Arthroplasty	J Knee Surg 8. 2020 Jun	Original Article	
202	Junya Yoshitani , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	The use of density mapping in the analysis of thigh pain after total hip arthroplasty in patients with well-fixed tapered wedge stems.	J Orthop Surg (Hong Kong) 28(2):2309499020930306. Jan-Apr 2020;	Original Article	
203	Takaaki Ohmori , Tamon Kabata , Satoshi Kato 他	整形外科	The efficacy of total hip arthroplasty on locomotive syndrome and its related physical function in patients with hip osteoarthritis	J Orthop Sci 26(3):389-395.2021 May	Original Article	
204	Yasushi Takata , Junsuke Nakase , Kengo Shimozaki 他	整形外科	Autologous Adipose-Derived Stem Cell Sheet Has Meniscus Regeneration-Promoting Effects in a Rabbit Model.	Arthroscopy 36(10):2698-2707. 2020 Oct	Original Article	
205	Takuro Ueno , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	Association between total hip arthroplasty following periacetabular osteotomy and acetabular component overhang	Eur J Orthop Surg Traumatol 30(8):1431-1439.2020 Dec	Original Article	5件

206	Kentaro Igarashi , Kei Kawaguchi , Tasuku Kiyuna 他	整形外科	Eribulin Regresses a Doxorubicin-resistant Dedifferentiated Liposarcoma in a Patient-derived Orthotopic Xenograft Mouse Model	Cancer Genomics Proteomics 17(4):351-358.Jul-Aug 2020	Original Article	
207	Shinji Miwa , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Recent Advances and Challenges in the Treatment of Rhabdomyosarcoma	Cancers 2;12(7):1758. 2020 Jul	Original Article	
208	Junya Yoshitani , Tamon Kabata , Hiroshi Arakawa 他	整形外科	Combinational therapy with antibiotics and antibiotic-loaded adipose-derived stem cells reduce abscess formation in implant-related infection in rats.	Sci Rep 7;10(1):11182. 2020 Jul	Original Article	
209	Takashi Higuchi , Norihiko Sugisawa , Jun Ho Park 他	整形外科	Osimertinib regressed an EGFR-mutant lung-adenocarcinoma bone-metastasis mouse model and increased long-term survival	Transl Oncol 13(10):100826.2020 Oct	Original Article	
210	Atsuro Murai , Kaoru Tada , Mika Nakada 他	整形外科	Use of a Free Vascularized Medial Femoral Condyle Flap for Revision Surgery in a Pediatric Patient with Congenital Pseudarthrosis of the Clavicle.	Case Rep Orthop 29;2020:8872934.2020 Jun	Original Article	5件

211	Makoto Handa , Satoru Demura , Satoshi Kato 他	整形外科	Long-Term Outcomes of Excision Surgery for Aggressive Vertebral Hemangiomas	World Neurosurg 142:e474-e480. 2020 Oct	Original Article	
212	Mika Nakada , Soichiro Itoh , Kaoru Tada 他	整形外科	Effects of hybridization of decellularized allogenic nerves with adiposederive stem cell sheets to facilitate nerve regeneration	Brain Research 1;1746:147025. 2020 Nov	Original Article	
213	Satoshi Kato , Yuki Kurokawa , Tamon Kabata 他	整形外科	Improvement of locomotive syndrome with surgical treatment in patients with degenerative diseases in the lumbar spine and lower extremities: a prospective cohort study.	BMC Musculoskelet Disord 3;21(1):515.2020 Aug	Original Article	
214	Kaoru Tada , Mika Nakada , Masashi Matsuta 他	整形外科	Enhanced Nerve Autograft Using Stromal Vascular Fraction	Eur J Orthop Surg Traumatol 31(1):183-188. 2021 Jan	Original Article	
215	Shinji Miwa , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Accuracy of histological grades from intraoperative frozen-section diagnoses of soft-tissue tumors	Int J Clin Oncol 25(12):2158-2165.2020 Dec	Original Article	5件

216	Katsuhiro Hayashi , Norio Yamamoto , Akihiko Takeuchi 他	整形外科	Clinical course of grafted cartilage in osteoarticular frozen autografts for reconstruction after resection of malignant bone and soft-tissue tumor involving an epiphysis	J Bone Oncol 2;24:100310. 2020 Aug	Original Article	
217	Akihiko Takeuchi , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Intraoperative ultrasonography-guided surgery for malignant soft tissue tumor	J Surg Oncol 122(8):1791-1801. 2020 Dec	Original Article	
218	Yasuhisa Yoshida , Hidenori Matsubara , Hiroki Kawashima 他	整形外科	Assessment of Lateral Hindfoot Impingement with Weightbearing Multiplanar Imaging in a Flatfoot	Acta Radiol Open 31;9(7):2058460120945309.2020 Jul	Original Article	
219	Junsuke Nakase , Katsuhiko Kitaoka , Yosuke Shima 他	整形外科	Risk factors for noncontact anterior cruciate ligament injury in female high school basketball and handball players: A prospective 3-year cohort study	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol 8;22:34-38.2020 Aug	Original Article	
220	Kentaro Igarashi , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Distal Tibial Tuberosity Focal Dome Osteotomy Combined With Intra-Articular Condylar Osteotomy (Focal Dome Condylar Osteotomy) for Medial Osteoarthritis of the Knee Joint	Arthrosc Tech 28;9(8):e1079-e1086. 2020 Jul	Original Article	5件

221	Kazuya Shinmura , Satoshi Kato , Satoru Demura 他	整形外科	Revision surgery for instrumentation failure after total en bloc spondylectomy: a retrospective case series	BMC Musculoskelet Disord 2;21(1):591. 2020 Sep	Original Article	
222	Yoshihiro Araki , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Secondary Osteoarthritis After Curettage and Calcium Phosphate Cementing for Giant-Cell Tumor of Bone Around the Knee Joint: Long-Term Follow-up	JBJS Open Access 5;5(3):e19.00068. 2020 Aug	Original Article	
223	Tomoharu Takagi , Tamon Kabata , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Periodic injections of adipose-derived stem cell sheets attenuate osteoarthritis progression in an experimental rabbit model.	BMC Musculoskelet Disord 19;21(1):691.2020 Oct	Original Article	
224	Hirotaka Yonezawa , Shinji Miwa , Norio Yamamoto 他	整形外科	Structural Origin and Surgical Complications of Peripheral Schwannomas	Anticancer Res 40(11):6563-6570. 2020 Nov	Original Article	
225	Kensaku Abe , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Diagnosis and treatment of intramedullary osteosclerosis: a report of three cases and literature review.	BMC Musculoskelet Disord 19;21(1):762. 2020 Nov	Original Article	5件

226	Shinji Miwa , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Diagnostic accuracies of intraoperative frozen section and permanent section examinations for histological grades during open biopsy of bone tumors.	Int.J Clin Oncol 2021 Mar;26(3):613-619	Case report	
227	Gang Xu , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Atypical and incomplete pulmonary hypertrophic osteoarthropathy in the left distal femur: a case report.	BMC Surg 23;20(1):293. 2020 Nov	Original Article	
228	Yoshihiro Araki , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Delayed Initiation of Treatment Is Associated With Metastasis of Soft-tissue Sarcoma	Anticancer Res 40(12):7009-7015. 2020 Dec	Original Article	
229	Hirotaka Yonezawa , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	Low-grade myofibroblastic sarcoma of the levator scapulae muscle: a case report and literature review	BMC Musculoskelet Disord 10;21(1):836. 2020 Dec	Original Article	
230	Junsuke Nakase , Kengo Shimozaki , Kazuki Asai 他	整形外科	Usefulness of lateral femoral cutaneous nerve block in combination with femoral nerve block for anterior cruciate ligament reconstruction: a prospective trial	Arch Orthop Trauma Surg 140;1319–1325,2020 Oct . 2021Mar	Original Article	5件

231	Junsuke Nakase , Yasushi Takata , Kengo Shimozaki 他	整形外科	Clinical study of anatomical ACL reconstruction using a rounded rectangular dilator	BMC Musculoskelet Disord 7;22(1):38 2021 Jan	Original Article	
232	Tomo Hamada , Hidenori Matsubara , Toshifumi Hikichi 他	整形外科	Evaluating the course of the saphenous vein and nerve for risk assessment in the suture button technique	Sci Rep 8;11(1):131 2021 Jan	Original Article	
233	Yoshitomo Saiki , Tomohiro Ojima , Tamon Kabata 他	整形外科	Gradual exacerbation of knee flexion angle after total knee arthroplasty in patients with diabetes mellitus	Mod Rheumatol 25;1-11 2021 Feb	Original Article	
234	Yeong Huei Ng , Satoshi Kato , Satoru Demura 他	整形外科	Delayed ischemic spinal cord injury after total en bloc spondylectomy in the thoracic spine	J Orthop Sci 8;S0949-2658(20)30373-0 2021 Jan	Original Article	
235	Yoshihiro Araki , Norio Yamamoto , Katsuhiro Hayashi 他	整形外科	The number of osteoclasts in a biopsy specimen can predict the efficacy of neoadjuvant chemotherapy for primary osteosarcoma	Sci Rep 21;11(1):1989 2021 Jan	Original Article	5件

236	Yoshihiro Araki , Katsuhiro Hayashi , Norio Yamamoto 他	整形外科	Reconstruction using a frozen autograft for a skull and humeral lesion of synchronous multicentric osteosarcoma after undergoing successful neoadjuvant chemotherapy: a case report and review of the literature	BMC Surg 22;21(1):56. 2021 Jan	Original Article	
237	Satoshi Kato , Satoru Demura , Kazuya Shinmura 他	整形外科	Association of low back pain with muscle weakness, decreased mobility function, and malnutrition in older women: A cross-sectional study	PLoS One 25;16(1):e0245879 2021 Jan	Original Article	
238	Hirotaka Yonezawa , Katsuhiro Hayashi , Norio Yamamoto 他	整形外科	Significant Improvement After Surgery for a Symptomatic Osteoblastoma in a Patient with Camurati-Engelmann Disease:Case Report and Literature Review	Calcif Tissue Int. 2021 Jun;108(6):819-824	Case report	
239	Katsuhiro Hayashi , Norio Yamamoto , Akihiko Takeuchi 他	整形外科	Long-term survival in a patient with Hutchinson-Gilford progeria syndrome and osteosarcoma: A case report	World J Clin Cases 6;9(4):854–863. 2021 Feb	Original Article	
240	Kaoru Tada , Seigo Suganuma , Mika Nakada 他	整形外科	Sensory Disturbance of the Lower Extremity after Sural Artery Flap Elevation	Adv Orthop 13;2021:8886063. 2021 Feb	Original Article	5件

241	Noritaka Yonezawa , Hideki Murakami , Satoru Demura 他	整形外科	Abscopal Effect of Frozen Autograft Reconstruction Combined with an Immune Checkpoint Inhibitor Analyzed Using a Metastatic Bone Tumor Model	Int J Mol Sci 17;22(4):1973. 2021 Feb	Original Article	
242	Yasushi Takata , Junsuke Nakase , Anri Inaki 他	整形外科	Skeletal muscle metabolism on whole-body positron emission tomography during pitching	J Int Soc Sports Nutr 6;18(1):21. 2021 Mar	Original Article	
243	Hiroyuki Tsuchiya	整形外科	Heritage and Invention –Dream, Dare and Do	J Orthop Sci 26(2):201–202. 2021 Mar	Original Article	
244	Kazuki Asai , Junsuke Nakase , Tatsuya Ishikawa 他	整形外科	Differences in cellular and microstructural properties of the semitendinosus muscle tendon between young and adult patients	J Orthop Sci 10;S0949-2658(21)00051-8.2021 Mar	Original Article	
245	Ken Ueoka , Tamon Kabata , Yoshitomo Kajino 他	整形外科	The prevalence and impact of sarcopenia in females undergoing total hip arthroplasty: A prospective study	Mod Rheumatol 30;1-6.2021 Mar	Original Article	5件

246	Asano Y, Yamamoto N, Hayashi K, Takeuchi A, Miwa S, Igarashi K, Yonezawa H, Araki Y, Morinaga S, Kasahara K, Sone T, Tsuchiya H	整形外科	Complete Response of Bone Metastasis in Non-small Cell Lung Cancer With Pembrolizumab: Two Case Reports	Anticancer Res 41(3):1693-1699 . 2021 Mar	Original Article	
247	Kaoru Tada , Mika Nakada , Masashi Matsuta 他	整形外科	Long-term outcomes of donor site morbidity after sural nerve graft harvesting	J Hand Surg GO 2;74-76	Original Article	
248	Yuki Kato , Kazuyoshi Shigehara , Kazufumi Nakashima 他	泌尿器科	The five-year effects of testosterone replacement therapy on lipid profile and glucose tolerance among hypogonadal men in Japan: a case control study	Aging Male. 2020 Mar;23(1):23-28. doi: 10.1080/13685538.2018.1550060. Epub 2019 Jan 16.	Original Article	
249	Shohei Kawaguchi , Yoshifumi Kadono , Takahiro Nohara 他	泌尿器科	A Case Report of Chyloretroperitoneum Post Living-Donor Transplantation	Urol Int. 2020;104(1-2):160-162. doi: 10.1159/000497108. Epub 2019 Feb 20.	Case report	
250	Masashi Iijima , Kazuyoshi Shigehara , Hideki Igarashi 他	泌尿器科	Y chromosome microdeletion screening using a new molecular diagnostic method in 1030 Japanese males with infertility	Asian J Androl. 2020 Jul-Aug;22(4):368-371. doi: 10.4103/aja.aja_97_19.	Original Article	5件

251	Yuki Kato , Shohei Kawaguchi , Kazuyoshi Shigehara 他	泌尿器科	Prevalence of N. gonorrhoeae, C. trachomatis, M. genitalium, M. hominis and Ureaplasma spp. in the anus and urine among Japanese HIV-infected men who have sex with men	J Infect Chemother. 2020 Apr;26(4):403-406. doi: 10.1016/j.jiac.2019.12.007. Epub 2019 Dec 25.	others	
252	Yuki Kato , Kazuyoshi Shigehara , Shohei Kawaguchi 他	泌尿器科	Recovery of serum testosterone following neoadjuvant androgen deprivation therapy in Japanese prostate cancer patients treated with low-dose rate brachytherapy	Aging Male. 2020 Dec;23(5):1210-1216. doi: 10.1080/13685538.2020.1731450. Epub 2020 Feb 25.	Original Article	
253	Taito Nakano , Yoshifumi Kadono , Hiroaki Iwamoto 他	泌尿器科	Therapeutic Effect of Ethinylestradiol in Castration-resistant Prostate Cancer	Anticancer Res. 2020 Apr;40(4):2291-2296. doi: 10.21873/anticanres.14194.	Original Article	
254	Jiro Sakamoto , Kazuyoshi Shigehara , Kyoko Shimizu 他	泌尿器科	Human papillomavirus 16-positive penile Bowen's disease involving the distal urethra: A case report	SAGE Open Med Case Rep. 2020 May 13;8:2050313X20918985. doi: 10.1177/2050313X20918985. eCollection 2020.	Case report	
255	Yoshifumi Kadono	泌尿器科	Editorial Comment from Dr Kadono to Timing and distribution of early renal cell carcinoma recurrences stratified by pathological nodal status in M0 patients at the time of nephrectomy	Int J Urol. 2020 Jul;27(7):623-624. doi: 10.1111/iju.14274. Epub 2020 May 25.	others	5件

256	Tomoyuki Makino , Kouji Izumi , Hiroaki Iwamoto 他	泌尿器科	The Impact of Hypertension on the Clinicopathological Outcome and Progression of Renal Cell Carcinoma	Anticancer Res. 2020 Jul;40(7):4087-4093. doi: 10.21873/anticanres.14407.	Original Article	
257	Renato Naito , Kouji Izumi , Atsushi Mizokami 他	泌尿器科	First-line immune checkpoint inhibitors for patients with metastatic urothelial carcinoma treated in routine clinical practice	Transl Androl Urol. 2020 Jun;9(3):986-990. doi: 10.21037/tau.2020.04.08.	Review	
258	Yuki Kato , Kazuyoshi Shigehara , Shohei Kawaguchi 他	泌尿器科	Efficacy of testosterone replacement therapy on pain in hypogonadal men with chronic pain syndrome: A subanalysis of a prospective randomised controlled study in Japan (EARTH study)	Andrologia. 2020 Oct;52(9):e13768. doi: 10.1111/and.13768. Epub 2020 Jul 24.	Original Article	
259	Suguru Kadomoto , Kouji Izumi , Atsushi Mizokami	泌尿器科	The CCL20-CCR6 Axis in Cancer Progression	Int J Mol Sci. 2020 Jul 22;21(15):5186. doi: 10.3390/ijms21155186.	Review	
260	Hiroaki Iwamoto , Kouji Izumi , Suguru Kadomoto 他	泌尿器科	A novel screening strategy for clinically significant prostate cancer in elderly men over 75 years of age	Asian J Androl. 2021 Jan-Feb;23(1):36-40. doi: 10.4103/aja.aja_39_20.	Original Article	5件

261	Kazuyoshi Shigehara , Masayoshi Shimamura , Shohei Kawaguchi 他	泌尿器科	[Effects of Tadalafil 5 mg Once-Daily on Serum Testosterone Level, Erectile Function, and Highly Sensitive C-Reactive Protein Value in Hypogonadal Patients with Lower Urinary Tract Symptoms]	Hinyokika Kiyo. 2020 Aug;66(8):259-264. doi: 10.14989/ActaUrolJap_66_8_259.	Original Article	
262	Hiroaki Iwamoto , Kouji Izumi , Takashi Shimada 他	泌尿器科	Androgen receptor signaling-targeted therapy and taxane chemotherapy induce visceral metastasis in castration-resistant prostate cancer	Prostate. 2021 Jan;81(1):72-80. doi: 10.1002/pros.24082. Epub 2020 Oct 13.	Original Article	
263	Hiroshi Yaegashi , Takahiro Nohara , Kazuyoshi Shigehara 他	泌尿器科	A case of adrenal lymphangioma resected laparoscopically with minimal invasiveness	Urol Case Rep. 2020 Sep 2;33:101400. doi: 10.1016/j.eucr.2020.101400. eCollection 2020 Nov.	Case report	
264	Hiroki Nakata , Miki Yoshiike , Shiari Nozawa 他	泌尿器科	Three-dimensional structure of seminiferous tubules in the Syrian hamster	J Anat. 2021 Jan;238(1):86-95. doi: 10.1111/joa.13287. Epub 2020 Jul 24.	Original Article	
265	Hiroaki Iwamoto , Kouji Izumi , Atsushi Mizokami	泌尿器科	Is the C-C Motif Ligand 2-C-C Chemokine Receptor 2 Axis a Promising Target for Cancer Therapy and Diagnosis?	Int J Mol Sci. 2020 Dec 7;21(23):9328. doi: 10.3390/ijms21239328.	Review	5件

266	Hiroki Nakata , Taito Nakano , Shoichi Iseki 他	泌尿器科	Three-Dimensional Analysis of Busulfan-Induced Spermatogenesis Disorder in Mice	Front Cell Dev Biol. 2020 Dec 17;8:609278. doi: 10.3389/fcell.2020.609278. eCollection 2020.	Original Article	
267	Hiroshi Kano , Yoshifumi Kadono , Suguru Kadomoto 他	泌尿器科	Similar Recurrence Rate Between Gleason Score of Six at Positive Margin and Negative Margin After Radical Prostatectomy	Anticancer Res. 2021 Jan;41(1):509-516. doi: 10.21873/anticanres.14802.	Original Article	
268	Tomoyuki Makino , Kouji Izumi , Kaoru Hiratsuka 他	泌尿器科	Anti-proliferative and anti-migratory properties of coffee diterpenes kahweol acetate and cafestol in human renal cancer cells	Sci Rep. 2021 Jan 12;11(1):675. doi: 10.1038/s41598-020-80302-4.	Original Article	
269	Kazuyoshi Shigehara , Kouji Izumi , Kazufumi Nakashima 他	泌尿器科	Efficacy and safety of keishibukuryogan, a traditional Japanese Kampo medicine, for hot flashes in prostate cancer patients receiving androgen deprivation therapy	Transl Androl Urol. 2020 Dec;9(6):2533-2540. doi: 10.21037/tau-20-901.	Original Article	
270	Kazuyoshi Shigehara , Kouji Izumi , Yoshifumi Kadono 他	泌尿器科	Testosterone and Bone Health in Men: A Narrative Review	J Clin Med. 2021 Feb 2;10(3):530. doi: 10.3390/jcm10030530.	Review	5件

271	Yuta Takezawa , Hiroshi Yaegashi , Masashi Iijima 他	泌尿器科	Durable response achieved using Pazopanib for germ tumor cells: A case report	Mol Clin Oncol. 2021 Mar;14(3):48. doi: 10.3892/mco.2021.2210. Epub 2021 Jan 19.	Case report	
272	Hiroaki Iwamoto , Hiroshi Kano , Takafumi Shimada 他	泌尿器科	Effectiveness of Vintage Hormone Therapy as Alternative Androgen Deprivation Therapy for Non-metastatic Castration-resistant Prostate Cancer	In Vivo. Mar2021;35(2):1247-1252. doi: 10.21873/invivo.12375.	Original Article	
273	Kouji Izumi , Takashi Shima , Kazuyoshi Shigehara 他	泌尿器科	A novel risk classification score for malignant ureteral obstruction: a multicenter prospective validation study	Sci Rep. 2021 Feb 24;11(1):4455. doi: 10.1038/s41598-021-84054-7.	Original Article	
274	Shohei Kawaguchi , Kazutaka Narimoto , Akihiro Hamuro 他	泌尿器科	Transvaginal polytetrafluoroethylene mesh surgery for pelvic organ prolapse: 1-year clinical outcomes	Int J Urol. 2021 Mar;28(3):268-272. doi: 10.1111/iju.14444. Epub 2020 Nov 28.	Original Article	
275	Hiroshi Yaegashi , Yuki Kato , Takahiro Nohara 他	泌尿器科	Histiocytic sarcoma following combination chemotherapy for primary mediastinal germ cell tumor: a diagnostic dilemma	Int Cancer Conf J. 2021 Jan 9;10(2):144-148. doi: 10.1007/s13691-020-00467-7. eCollection 2021 Apr.	Case report	5件

276	Yoshifumi Kadono , Shohei Kawaguchi , Takahiro Nohara 他	泌尿器科	Blood Cell Count Biomarkers Predicting Efficacy of Pembrolizumab as Second-line Therapy for Advanced Urothelial Carcinoma	Anticancer Res. 2021 Mar;41(3):1599-1606. doi: 10.21873/anticanres.14921.	Original Article	
277	HIROSHI YAEGASHI, KOUJI IZUMI, SUGURU KADOMOTO 他	泌尿器科	Treatment at an Inexperienced Center Suggests Worse Prognosis of Metastatic Germ Cell Tumors	Cancer Diagnosis and Prognosis .Volume 1(1); Pages: 13-17, 2021	Original Article	
278	Hideaki Yokogawa , Akira Kobayashi , Natsuko Mori 他	眼科	Clinical Evaluation of the “Lifeline Suture” Technique for DSAEK in Cases Without Posterior Capsule Using a Novel Donor Insertion Device.	Cornea.39(4)：523-526,2020	Original Article	
279	Shunsuke Tsuchiya , Tomomi Higashide , Sachiko Udagawa 他	眼科	Glaucoma-related central visual field deterioration after vitrectomy for epiretinal membrane: topographic characteristics and risk factors.	Eye.35(3):919-928,2021	Original Article	
280	Hideaki Yokogawa , Akira Kobayashi , Natsuko Mori 他	眼科	Visibility of the Retina Through an Air-Filled Anterior Chamber During Simultaneous Vitrectomy and Descemet’s Stripping Automated Endothelial Keratoplasty.	Clinical Ophthalmology.14：2119-2123,2020	Original Article	5件

281	Daisuke Takemoto , Tomomi Higashide , Shinji Ohkubo 他	眼科	Ability of Macular Inner Retinal Layer Thickness Asymmetry Evaluated by Optical Coherence Tomography to Detect Preperimetric Glaucoma.	Translational Vision Science & Technology.9(5)：8,2020	Original Article	
282	Akira Kobayashi , Hideaki Yokogawa, Natsuko Mori 他	眼科	Graft Edge Reflection of a Tightly Scrolled Roll Using Endoillumination as a Simple Method for Determining Graft Orientation in Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty.	Cornea.40(2):254-257,2021	Original Article	
283	Tomomi Higashide , Shinji Ohkubo , Sachiko Udagawa 他	眼科	Spatial and temporal relationship between structural progression and disc hemorrhage in glaucoma in a 3-year prospective study.	Ophthalmology Glaucoma.S2589-4196(20)30220-9,2020	Original Article	
284	Shunsuke Tsuchiya , Tomomi Higashide , Sachiyo Hatake 他	眼科	Effect of inhalation anesthesia with isoflurane on circadian rhythm of murine intraocular pressure.	Experimental Eye Research.203:108420,2021	Original Article	
285	Naohiro Wakisaka , Kazuhira Endo , Tomohiro Kitazawa 他	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	Detection of sentinel lymph node using contrast-enhanced agent, SonazoidTM, and evaluation of its metastasis with superb microvascular imaging in oral and oropharyngeal cancers: a preliminary clinical study	Acta Otolaryngol. 2019 139(1), 94-9	Original Article	5件

286	Hisashi Sugimoto , Miyako Hatano , Tomokazu Yoshizaki	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	In-scalp incision technique for cochlear implantation	Clinical Otolaryngology First published: Epub 2020 Nov 3. 2021 46(1), 101-5	Original Article	
287	Kousho Wakae , Satoru Kondo , Hai Thanh Pham 他	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	EBV-LMP1 induces APOBEC3s and mitochondrial DNA hypermutation in nasopharyngeal cancer	Cancer Medicine 2020 9(20), 7663-71	Original Article	
288	Hai Thanh Pham , Satoru Kondo , Kazuhira Endo 他	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	Influences of Semaphorin 3A Expression on Clinicopathological Features, Human Papillomavirus Status, and Prognosis in Oropharyngeal Carcinoma	Microorganisms 2020 8(9), 1286	Original Article	
289	Yuji Takaso , Masao Noda , Tsuyoshi Hattori 他	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	Deletion Of CD38 And Supplementation Of NAD+ Attenuate Axon Degeneration In A Mouse Facial Nerve Axotomy Model	Scientific Reports 2020 10(1), 17795	Original Article	
290	Haruna Makita , Kazuhira Endo , Akiko Shirai 他	耳鼻咽喉科･頭頸部外科	Eppikajutsuto (a Japanese herbal medicine) regulates mTOR and induces apoptosis in oral cancer cells	Traditional & Kampo Medicine 2020 7(2), 72-7	Original Article	5件

291	Yasunari Mizumoto , Junpei Iwadare , Kyohei Nakade 他	産科婦人科	A direct endoscopic approach for left-sided infrarenal para-aortic lymphadenectomy immediately after hysterectomy for endometrial cancer treatment: left dome formation (LDF).	Surg Endosc. 2020 Aug;34(8):3338-3343.	Original Article	
292	Kyosuke Kagami , Masanori Ono , Takashi Iizuka 他	産科婦人科	A novel third mesh-like myometrial layer connects the longitudinal and circular muscle fibers -A potential stratum to coordinate uterine contractions.	Sci Rep. 2020 May 19;10(1):8274.	Original Article	
293	Midori Nakayama , Masanori Ono , Takashi Iizuka 他	産科婦人科	Hypertensive disorders of pregnancy are associated with dysmenorrhea in early adulthood: A cohort study.	J Obstet Gynaecol Res. 2020 Nov;46(11):2292-2297.	Original Article	
294	Kayo Kayahashi , Yasunari Mizumoto , Ayumi Matsuoka 他	産科婦人科	Mucinous, endometrioid, and serous ovarian cancers with peritoneal dissemination are potent candidates for P-cadherin targeted therapy: a retrospective cohort study.	BMC Cancer. 2021 Jan 7;21(1):32.	Original Article	
295	Takashi Iizuka , Kousho Wakae , Masanori Ono 他	産科婦人科	Activation-induced cytidine deaminase is a possible regulator of cross-talk between oocytes and granulosa cells through GDF-9 and SCF feedback system.	Sci Rep. 2021 Feb 15;11(1):3833.	Original Article	5件

296	Xiaoliang Liu , Masashi Kinoshita , Harumichi Shinohara 他	脳神経外科	Does the superior fronto-occipital fascicle exist in the human brain? Fiber dissection and brain functional mapping in 90 patients with gliomas	Neuroimage Clin. 25: 102192, 2020	Original Article	
297	Toshiya Ichinose , Katsuyoshi Miyashita , Shingo Tanaka 他	脳神経外科	Recurrent spinal intramedullary arachnoid cyst: A case report and literature review	World Neurosurg. 138: 68-72, 2020	Case report	
298	Kenji Yoshiki , Yasuo Sasagawa , Masashi Kinoshita 他	脳神経外科	Superficial siderosis associated with long-term recurrence of pilocytic astrocytoma in an elderly person	World Neurosurg. 138: 541-544, 2020	Case report	
299	Kouichi Misaki , Takehiro Uno , Iku Nambu 他	脳神経外科	Asymptomatic carotid intraplaque hemorrhage is associated with a high risk of cerebral infarction and death after cardiovascular surgery	J Neurol Sci	Original Article	
300	Masahiro Oishi , Seiichi Munesue , Ai Harashima 他	脳神経外科	Aquaporin 1 elicits cell motility and coordinates vascular bed formation by downregulating thrombospondin type-1 domain-containing 7A in glioblastoma	Cancer Med. 9: 3904-3917, 2020	Original Article	5件

301	Sho Tamai , Takuya Watanabe , Toshiya Ichinose 他	脳神経外科	Morphological characteristics of infected subdural hematoma: Comparison with images of chronic subdural hematoma	Clin Neurol Neurosurg. 194: 105831, 2020	Original Article	
302	Jiakang Zhang , Takuya Furuta , Hemragul Sabit 他	脳神経外科	Gelsolin inhibits malignant phenotype of glioblastoma and is regulated by miR-654-5p and miR-450b-5p	Cancer Sci. 111: 2413-2422, 2020	Original Article	
303	Harumichi Shinohara , Xiaoliang Liu , Riho Nakajima 他	脳神経外科	Pyramid-shape crossings and inter-crossing fibers are key elements for construction of the neural network in the superficial white matter of the human cerebrum	Cerebral Cortex. 30: 5218-5228, 2020	Original Article	
304	Shabierjiang Jiapaer , Takuya Furuta , Yu Dong 他	脳神経外科	Identification of 2-fluoropalmitic acid as a potential therapeutic agent against glioblastoma	Curr Pharm Des. 26: 4675-4684, 2020	Original Article	
305	Takayuki Hasegawa , Naoyuki Uchiyama , Hiroki Sano 他	脳神経外科	Intra-aneurysmal embolization of cellulose porous beads to regenerate vessel wall: an experimental study	Neuroradiology. 62: 1169-1175, 2020	Original Article	5件

306	Kosuke Nambu , Kouichi Misaki , Akifumi Yoshikawa 他	脳神経外科	Cavernous sinus dural arteriovenous fistula with an enhanced lesion in the brainstem mimicking a malignant tumor	World Neurosurg. 140: 13-17, 2020	Case report	
307	Taishi Tsutsui , Hironori Kawahara , Ryouken Kimura 他	脳神経外科	Glioma-derived extracellular vesicles promote tumor progression by conveying WT1	Carcinogenesis. 41: 1238-1245, 2020	Original Article	
308	Masahiro Oishi , Hironori Fujisawa , Katsuhiro Tsuchiya 他	脳神経外科	Radiation-Induced Spinal Cord Cavernous Malformations Associated with Medulloblastoma: Case Report and Review of the Literature	World Neurosurg. 141: 318-322, 2020	Case report	
309	Takuya Furuta , Yasuo Sugita , Satoru Komaki 他	脳神経外科	The multipotential of leucine-rich α-2 glycoprotein 1 as a clinicopathological biomarker of glioblastoma	J Neuropathol Exp Neurol. 79: 873-879, 2020	Original Article	
310	Guangtao Zhang , Shingo Tanaka , Shabierjiang Jiapaer 他	脳神経外科	RBPJ contributes to the malignancy of glioblastoma and induction of proneural-mesenchymal transition via IL-6-STAT3 pathway	Cancer Sci. 111(11): 4166-4176, 2020	Original Article	5件

311	Takehiro Uno , Kouichi Misaki , Iku Nambu 他	脳神経外科	Prediction of internal carotid artery aneurysm recurrence by pressure difference at the coil mass surface	Neuroradiology	Original Article	
312	Masahiro Oishi , Hironori Fujisawa , Katsuhiro Tsuchiya 他	脳神経外科	Spinal cord subependymoma mimicking syringomyelia in a child: a case report	Childs Nerv Syst	Case report	
313	Yasuo Sasagawa , Hiroyuki Aburano , Kazumasa Ooiso 他	脳神経外科	Oculomotor nerve palsy in pituitary apoplexy associated with pituitary adenoma: a radiological analysis with fast imaging employing with steady-state acquisition	Acta Neurochir (Wien)	Original Article	
314	Mitsutoshi Nakada , Riho Nakajima , Hirokazu Okita 他	脳神経外科	Awake surgery for right frontal lobe glioma can preserve visuospatial cognition and spatial working memory	J Neurooncol	Original Article	
315	Sho Tamai , Yoshiko Nakano , Masashi Kinoshita 他	脳神経外科	Ependymoma with C11orf95-MAML2 fusion: Presenting with granular cell and ganglion cell features	Brain Tumor Pathol	Case report	5件

316	Kouichi Misaki , Takehiro Uno , Iku Nambu 他	脳神経外科	Prediction of post-embolization recurrence of anterior communicating aneurysms with A1 segment asymmetry by fluid dynamic analysis	J Neuroendovasc Ther. oa.2020-0021, 2020	Original Article	
317	Akifumi Yoshikawa , Takehiro Uno , Iku Nambu 他	脳神経外科	Usefulness of 2D-perfusion analysis for the assessment of unilateral cervical internal carotid artery stenosis	J Neuroendovasc Ther. oa.2020-0132, 2020	Original Article	
318	Sho Tamai , Nozomi Hirai , Shabierjiang Jiapaer 他	脳神経外科	Drug repositioning for treatment of glioma: current state and future perspective	Drug Repurposing, ed. Farid A. Badria, InTech, 2020	Others	
319	Daiki Kayano , Hiroshi Wakabayashi , Kenichi Nakajima 他	核医学診療科	High-dose 131I-metaiodobenzylguanidine therapy in patients with high-risk neuroblastoma in Japan	Ann Nucl Med 2020;34:397-406	Original Article	
320	Yuka Taniguchi , Hiroshi Wakabayashi , Anri Inaki 他	核医学診療科	Radiation exposure in nurses during care of 131I-MIBG therapy for pediatric patients with high-risk neuroblastoma	Ann Nucl Med 2020;34:441-447	Original Article	5件

321	Kazuto Kozaka , Satoshi Kobayashi , Hiroyuki Takamura 他	核医学診療科	Differences in 18F-FDG Uptake and Expression of Glucose Transporter Between 2 Distinct Subtypes of Mass-Forming Intrahepatic Cholangiocarcinomas	Clin Nucl Med 2020;45:e267-e273	Original Article	
322	Hiroshi Wakabayashi , Daiki Kayano , Anri Inaki 他	核医学診療科	High-dose 131I-mIBG as consolidation therapy in pediatric patients with relapsed neuroblastoma and ganglioneuroblastoma: the Japanese experience	Ann Nucl Med 2020;34:840-846	Original Article	
323	Kenichi Nakajima , Tomoaki Nakata , Takahiro Doi 他	核医学診療科	Machine learning-based risk model using 123I-metaiodobenzylguanidine to differentially predict modes of cardiac death in heart failure	J Nucl Cardiol 2020 (Epuab ahead of print)	Original Article	
324	Kenichi Nakajima , Hiroshi Wakabayashi	核医学診療科	Value of combined perfusion and metabolic tracers versus stress – rest perfusion imaging for coronary heart disease	J Nucl Cardiol 2020 (Epuab ahead of print)	Original Article	
325	Kenichi Nakajima	核医学診療科	Triglyceride deposit cardiomyovasculopathy: How to recognise a new disease entity	Heart 2020 (Epub ahead of print)	Original Article	5件

326	Daisuke Miwa , Yoji Kitamura , Takashi Kozaka 他	核医学診療科	(−)-o-[11C]methyl-trans-decalinvesamicol ((−)-[11C]OMDV) as a PET ligand for the vesicular acetylcholine transporter	Synapse 2020;00:e22176	Original Article	
327	Kazuma Ogawa , Takuma Higashi , Kenji Mishiro 他	核医学診療科	Decreasing undesirable absorbed radiation to the intestine after administration of radium-223 dichloride for treatment of bone metastases	Sci Rep 2020;10:11917	Original Article	
328	Hiroshi Wakabayashi , Daiki Kayano , Anri Inaki 他	核医学診療科	Diagnostic Use of Post-therapy 131I-Meta-Iodobenzylguanidine Scintigraphy in Consolidation Therapy for Children with High-Risk Neuroblastoma	Diagnostics (Basel) 20202;10:663	Original Article	
329	Kunihisa Kobayashi , Yasuhiko Sakata , Hideyuki Miyauchi 他	核医学診療科	The Diagnostic Criteria 2020 for Triglyceride Deposit Cardiomyovasculopathy	Ann Nucl Cardiol 2020;6:99-104	Original Article	
330	Kenichi Nakajima , Shintaro Saito , Shohei Yoshida 他	核医学診療科	Status of nuclear cardiology in Japan 2020	J Coronary Artery Dis 2020;26:82-90	Original Article	5件

331	Koroku Kato , Hiroki Miyazawa , Hisano Kobayashi 他	歯科口腔外科	Caveolin-1 Expression at Metastatic Lymph Nodes Predicts Unfavorable Outcome in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma	Pathol Oncol Res. 2020 Oct;26(4):2105-2113.	Original Article	
332	Kazuhiro Ooi , Nobuo Inoue , Kazuhiro Matsushita 他	歯科口腔外科	Comparison of Maximum Mouth Opening Following Mandibular Bilateral Sagittal Splitting Ramus osteotomies in Class III Females Using Two Different Osteosynthesis Methods	J Oral Rehabil. 2020 Oct;47(10):1242-1246.	Original Article	
333	Koroku Kato , Atsushi Honbo , Hiroki Miyazawa 他	歯科口腔外科	Angioleiomyoma in the facies inferior linguae: A rare case and a literature review.	Arch Clin Med Case Rep 2020; 4 (5): 924-931	Case Report	
334	Koji Fukuda , Shinji Takeuchi , Sachiko Arai 他	がんセンター	Glycogen synthase kinase-3 inhibition overcomes epithelial-mesenchymal transition-associated resistance to osimertinib in EGFR-mutant lung cancer.	Cancer Sci 2020;111:2374-84.	Original Article	
335	Akihiro Nishiyama , Shinji Takeuchi , Yuta Adachi 他	がんセンター	MET amplification results in heterogenous responses to osimertinib in EGFR-mutant lung cancer previously treated with erlotinib.	Cancer Sci 2020;111(10):3813-23.	Original Article	5件

336	Koushiro Ohtsubo , Kaname Yamashita , Naohiro Yanagimura 他	がんセンター	Multiple malignant lymphomas of the bile duct developing after spontaneous regression of an autoimmune pancreatitis-like mass.	Int Med, 2021 Feb 1;60(3):409-15.	Original Article	
337	Rong Wang , Tadaaki Yamada , Kenji Kita 他	がんセンター	Transient IGF-1R inhibition combined with osimertinib eradicates AXL-low expressing EGFR mutated lung cancer.	Nat Commun 2020 Sep 14;11(1):4607.	Original Article	
338	Sachiko Arai , Shinji Takeuchi , Koji Fukuda 他	がんセンター	Resminostat, a histone deacetylase inhibitor, circumvents tolerance to EGFR inhibitors in EGFR-mutated lung cancer cells with BIM deletion polymorphism.	J Med Invest 2020;67(3.4):343-50.	Original Article	
339	Azusa Tanimoto , Shingo Matsumoto , Shinji Takeuchi 他	がんセンター	Proteasome inhibition overcomes ALK-TKI resistance by p53 inactivation through Noxa expression in ALK-rearranged NSCLC.	Clin Cancer Res 2020, 27(5):1410-20.	Original Article	
340	Akihiro Nishiyama , Hiroyuki Sakaguchi , Naohiro Yanagimura 他	がんセンター	Bronchoesophageal fistula formation after three courses of nivolumab for carcinoma of unknown primary with a subgroup of lung squamous cell carcinoma.	Oxford Medical Case Reports 2020 Dec 28;2020(12):omaa116.	Case Report	5件

341	Akihiro Nishiyama , Yukiko Staub , Yukio Suga 他	がんセンター	Sarcopenia may influence the prognosis in advanced thyroid cancer patients treated with molecular targeted therapy.	In Vivo 2021;35(1):401-10.	Original Article	
342	Shinji Takeuchi , Noriko Yanagitani , Takashi Seto 他	がんセンター	Phase 1/2 study of alectinib in RET-rearranged previously-treated non-small cell lung cancer (ALL-RET)	Transl Lung Cancer Res 2021, 10(1):314-25.	Original Article	
343	Takako Terakami , Akiko Sekiya , Kenshi Hayashi , Takeshi Suzuki , Hiroshi Furusho , Hidesaku Asakura , Eriko Morishita , Takashi Wada	検査部	The effect of direct oral anticoagulants on blood protein C activity.	Journal of Wellness and Health Care 44(1)：33-41,2020.8	Original Article	
344	Hironori Kojima , Akihiro Takemura , Shogo Kurokawa 他	放射線部	Evaluation of technical performance of optical surface imaging system using conventional and novel stereotactic radiosurgery algorithms	J Appl Clin Med Phys. 2021 Feb;22(2):58-68.	Original Article	
345	Takahiro Konishi , Takayuki Shibutani , Koichi Okuda 他	放射線部	Metal artifact reduction for improving quantitative SPECT/CT imaging	Ann Nucl Med. 2021 Mar;35(3):291-298.	Original Article	5件

346	Naoki Mugii , Fujiko Someya	リハビリテーション部	Ability of the COPD Assessment Test to evaluate the lung-specific quality of life in systemic sclerosis-associated interstitial lung disease	The Clinical Respiratory Journal	Original Article	
347	Yuki Kurokawa , Hideki Murakami , Satoru Demura 他	リハビリテーション部	Risk factors for poor outcomes of early rehabilitation after total en bloc spondylectomy: a retrospective chart review of 140 patients	Spinal Cord . 2020 Aug;58(8):900-907.	Original Article	
348	Yoshikazu Goto , Akira Funada , Tetsuo Maeda 他	救急部	Time boundaries of three-phase time-sensitive model for ventricular fibrillation cardiac arrest.	Resuscitation Plus 2021;100095	Original Article	
349	Yoshikazu Goto , Akira Funada , Tetsuo Maeda 他	救急部	Temporal trends in neurologically intact survival after paediatric bystander-witnessed out-of-hospital cardiac arrest: A nationwide population-based observational study.	Resuscitation Plus 2021;100104	Original Article	
350	Masaki Okajima , Yoshinori Takahashi , Takaaki Kaji 他	集中治療部	Nafamostat mesylate-induced hyperkalemia in critically ill patients with COVID-19: Four case reports	World Journal of Clinical Cases 8(21) 5320-5325 2020.11	Case report	5件

351	Teppei Kitano , Masaki Okajima , Koji Sato 他	集中治療部	Suicidal attempt with caffeine overdose treated with dexmedetomidine: a case report	Journal of Medical Case Reports 15 11 2021.1	Case report	
352	Tatsuhito Miyanaga , Keishi Mizuguchi , Satoshi Hara 他	病理部	Tertiary lymphoid tissue in early-stage IgG4-related tubulointerstitial nephritis incidentally detected with a tumor lesion of the ureteropelvic junction: a case report.	BMC Nephrol 2021 Jan 19;22(1):34	Case report	
353	Hiep Nguyen Canh , Kenta Takahashi , Minako Yamamura 他	病理部	Diversity in cell differentiation, histology, phenotype and vasculature of mass-forming intrahepatic cholangiocarcinomas.	Histopathology. 2021 May 21.	Original Article	
354	Yuhei Fujisawa , Ichiro Mizushima , Kazunori Yamada 他	総合診療部	Hypocomplementemia is related to elevated serum levels of IgG subclasses other than IgG4 in IgG4-related kidney disease	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):241-248.	Original Article	
355	Takeshi Zoshima , Kazuyuki Suzuki , Fae Suzuki 他	総合診療部	ANCA-associated nephritis without crescent formation has atypical clinicopathological features: a multicenter retrospective study	Clin Exp Nephrol. 2020 Nov;24(11):999-1006	Original Article	5件

356	Takako Saeki , Mitsuhiro Kawano , Tasuku Nagasawa 他	総合診療部	Validation of the diagnostic criteria for IgG4-related kidney disease (IgG4-RKD) 2011, and proposal of a new 2020 version.	Clin Exp Nephrol. 2021 Feb;25(2):99-109.	Original Article	
357	Taro Yamashita , Shuji Osawa , Kunio Ota 他	総合診療部	Interdisciplinary groups perform better than intradisciplinary groups in online group discussion activities.	Med Educ Online. 2021 Dec;26(1):1886649. doi: 10.1080/10872981.2021.1886649.	Original Article	
358	Taro Yamashita , Naohiko Koshikawa , Tetsuro Shimakami 他	総合診療部	Serum Laminin γ2 Monomer as a Diagnostic and Predictive Biomarker for Hepatocellular Carcinoma.	Hepatology. 2021 Feb 20. doi: 10.1002/hep.31758. Online ahead of print.	Original Article	
359	Taro Yamashita , Shuichi Kaneko	総合診療部	Liver cancer stem cells: Recent progress in basic and clinical research.	Regen Ther. 2021 Mar 21;17:34-37. doi: 10.1016/j.reth.2021.03.002. eCollection 2021 Jun.	Review Article	
360	Han Chen , Kouki Nio , Taro Yamashita 他	総合診療部	BMP9-ID1 signaling promotes EpCAM-positive cancer stem cell properties in hepatocellular carcinoma.	Mol Oncol. 2021 Apr 9. doi: 10.1002/1878-0261.12963. Online ahead of print.	Original Article	5件

361	Ryo Nishioka , Satoshi Hara , Hiroyuki Kawahara 他	研修医･専門医総合教育センター	Glomerulonephritis with severe nephrotic syndrome induced by immune complexes composed of galactose-deficient IgA1 in primary Sjögren's syndrome: a case report	BMC Nephrol. 22: 108, 2021	Original Article	
362	Ryo Nishioka , Mitsuhiro Kawano	研修医･専門医総合教育センター	Tongue ulceration from cytomegalovirus infection	N Engl J Med. 383(1): 67, 2020	Original Article	
363	Toshiaki Tokumaru , Tadashi Toyama , Akinori Hara 他	栄養管理部	Association between Unhealthy Dietary Habits and Proteinuria Onset in a Japanese General Population: A Retrospective Cohort Study	Nutrients 2020, 12(9), 2511	Original Article	
364	Akihiro Nomura , Connor A Emdin , Hong Hee Won 他	先端医療開発センター	Heterozygous?ABCG5?Gene Deficiency and Risk of Coronary Artery Disease.	Circ Genom Precis Med. 2020 Oct;13(5):417-423	Original Article	
365	Sakae Miyagi , Toshinari Takamura , Thao Thi Thu Nguyen 他	先端医療開発センター	Moderate alcohol consumption is associated with impaired insulin secretion and fasting glucose in non-obese non-diabetic men.	J Diabetes Investig. 2021 May	Orignal Article	5件

366	Yukiko Nakagawa , Takuya Suzuki , Yukio Suga 他	薬剤部	Examination of Aggregate Formation upon Simultaneous Dissolution of Methacrylic Acid Copolymer LD Enteric Coating Agent, Pharmaceutical Additives, and Zwitterionic Ingredients	Biol. Pharm. Bull 43, 682-687 (2020)	Original Article	
367	Yusuke Shimura , Yukio Suga , Shingo Itai 他	薬剤部	Comparison of Tolerability Between 2-Weekly and 3-Weekly Docetaxel Regimen in Castration-resistant Prostate Cancer	Anticancer Res 40(8),4291-4297 (2020)	Original Article	
368	Tsutomu Shimada , Mai Okano , Momoko Yamada 他	薬剤部	Administration of erlotinib in apple juice overcomes decreased absorption in a rat model of gastric acid suppression	Drug Metab Pharmacokinet 35(6), 534-538 (2020)	Original Article	
369	K O Misaka , Yukio Suga , Yukiko Staub 他	薬剤部	Risk Factors for Delayed Elimination of Methotrexate in Children, Adolescents and Young Adults With Osteosarcoma	In Vivo. 34(6), 3459-3465 (2020)	Original Article	
370	Kazuya Isoda , Junya Nakade , Yukio Suga 他	薬剤部	Initial Serum C-reactive Protein Level as a Predictor of Increasing Serum Vancomycin Concentration During Treatment	Ther Drug Monit . 2021 Feb 1. doi: 10.1097/FTD.0000000000000870. Online ahead of print.	Original Article	5件

371	Thi Le Ha Nguyen, Keisuke Nagase	経営企画部	Total Quality Management: A Mediating Factor in the Relationship Between Customer Expectations and Satisfaction	International Journal of Management and Marketing Research Vol. 13, No. 1, 2020, pp. 1-13 2020.11	Orignal Article	
372	Keiko Ogawa-Ochiai , Kenichi Yoshimura , Akiko Shirai 他	臨床開発部	Study Protocol for daiobotanpito combined with antibiotic therapy for treatment of acute diverticulitis: a study protocol for a randomized controlled trial.	Trials 21: 531, 2020. (16 June)	Original Article	
373	Yuko Gondoh-Noda , Mitsuhiro Kometani , Akihiro Nomura 他	臨床開発部	Feasibility of a novel mobile C-reactive protein testing device using gold-linked electrochemical immunoassay: clinical performance study.	JMIR Mhealth and Uhearlth 8: e18782, 2020. (Sep 7)	Original Article	
374	Yuka Taniguchi	看護部	Radiation exposure in nurses during care of 131 I-MIBG therapy for pediatric patients with high-risk neuroblastoma	Ann Nucl Med 2020;34:441-447.DOI:10.1007/s12149-020-01466-7.	Original Article	4件

計 374件

(注) 1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名･出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例:　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名･ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計　件

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	有・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・　手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
③　倫理審査委員会の開催状況	年10回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
　　2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・　規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年4回

(注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年12回
・研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者を対象に、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他生命科学・医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施	

(注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

各専門研修プログラムに沿って各診療科に所属しし、大学病院及び連携病院を循環しながら修練を行い、それぞれの専門医、あるいは認定医の資格取得を目指します。 また、診療技術の習得だけでなく臨床研究も行う事が可能である。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	164人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
金子　周一	消化器内科	科長	39年	
篁　　俊成	内分泌・代謝内科	科長	33年	
川野　充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	34年	
笠原　寿郎	呼吸器内科	科長	35年	
高村　雅之	循環器内科	科長	28年	
坂井　宣彦	腎臓内科	科長	25年	
宮本　敏浩	血液内科	科長	30年	
小野　賢二郎	脳神経内科	科長	25年	
菊知　充	神経科精神科	科長	27年	
和田　泰三	小児科	科長	29年	
香田　渉	放射線科	科長	26年	
髙松　繁行	放射線治療科	科長	20年	
松下　貴史	皮膚科	科長	22年	
竹村　博文	心臓血管外科	科長	36年	
松本　勲	呼吸器外科	科長	30年	
稲木　紀幸	胃腸外科	科長	24年	
八木　真太郎	肝胆膵・移植外科	科長	24年	
石川　聡子	乳腺外科	科長	13年	
酒井　清祥	小児外科	科長	19年	
土屋　弘行	整形外科	科長	38年	
溝上　敦	泌尿器科	科長	34年	
杉山　和久	眼科	科長	37年	
吉崎　智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	35年	
藤原　浩	産科婦人科	科長	38年	
谷口　巧	麻酔科蘇生科	科長	30年	
中田　光俊	脳神経外科	科長	27年	
絹谷　清剛	核医学診療科	科長	35年	
野村　英樹	総合診療科	科長	33年	
八幡　徹太郎	リハビリテーション科	科長	29年	
後藤　由和	救急科	科長	37年	
池田　博子	病理診断科	科長	19年	
谷口　巧	集中治療部	部長	30年	
矢野　聖二	がんセンター	センター長	31年	
川尻　秀一	歯科口腔外科	科長	33年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・新規採用職員オリエンテーション（詳細別添＊新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、集合研修は中止とし、各所属部署での配付資料・動画視聴を用いた学習を実施） 新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。 ・研修の期間・実施回数 ・令和2年4月1日（水）～令和2年4月3日（金） ・研修の参加人数 ・127名（うち、医師・歯科医師以外の者は91名）
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・情報セキュリティe-ラーニング ・研修の期間・実施回数 ・令和2年4月1日（水）～令和2年6月30日（火） ・研修の参加人数 ・1,273名
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、集合研修は中止となりました
講義資料を配付しますので、学習をお願いします

令和２年度　新規採用職員オリエンテーション日程表

日程: 令和２年４月１日（水）、２日（木）、３日（金）

会場:宝ホール（外来診療棟４階）

	４月１日（水）	４月２日（木）	４月３日（金）
8:30	受　付　（8:30～8:40） 辞令交付（病院長から）（8:40～9:00）	感染対策について　資料7 感染制御チーム（ICT）医師 感染制御チーム（ICT）薬剤師 感染制御チーム（ICT）臨床検査技師 感染制御チーム（ICT）看護師 動画上映あり （8:30～10:15）	リスクマネジメントについて　資料12 （インフォームドコンセント、輸血に係る説明を含む） 医療安全管理部 GRM（医師） 医療安全管理部 GRM（看護師） 医療安全管理部 GRM（薬剤師） ME機器管理センター 臨床工学技士長 動画上映あり （8:30～10:15）
9	幹部職員紹介　（9:00～9:05） 訓示・病院の概要について　資料1 病院長　（9:05～9:25） オリエンテーション日程説明　（9:25～9:30）		
10	経営戦略について　資料2 病院長補佐（経営企画・医療情報担当） （9:30～10:00） 個人情報の取り扱いについて　資料3 病院情報システムの利用について 経営企画部長　eラーニング予定（後日案内） （10:00～10:45）	休憩（10:15～10:30） 臨床倫理について　資料8 臨床倫理コンサルティングチーム リーダー （10:30～11:15）	休憩（10:15～10:30） 医療人として必要な基本姿勢・態度　資料13 （「患者さんの権利」及び「患者さんに守っていただくこと」を含む） 看護部副看護部長（教育担当） 看護部副看護部長（GRM） 医療支援課長 （10:30～12:00）
11	休憩（10:45～11:00） 診療報酬制度について　資料4 医事課長 （11:00～11:30） 事務手続き等について　別途書類配付 総務課各担当係 （11:30～12:00）	本院の経営について　資料9 本学が経理する全ての経費の適正な執行について 経営管理課長、会計総務係長 （11:15～12:00）	
12	昼　　食（12:00～13:00）		
13	ハラスメントの防止について　資料5 学長補佐（ハラスメント防止担当） （13:00～14:00）	情報セキュリティ対策について　資料10 ネットワークIDの取得と利用について 情報部情報推進課 （13:00～13:20） 防火管理について　資料11 防火訓練、災害対応、施設説明、BCP、C-SIREN、ストレッチャー訓練 総務課総務係長　各部署での演習あり 看護部看護師長（キャリア開発センター） （13:20～15:00） ※消火器、消火栓等を使用して屋外で行います。汚れてもよい服装で参加してください。	医療用放射線の安全性について　実施省略 放射線部 診療放射線技師長 （13:00～14:00）
14	チーム医療と看護業務　資料6 看護部副看護部長（総務担当） （14:00～15:00）		先輩からのメッセージ　実施省略 「１年間（新人時代）を振り返って」 H31年採用職員、若手職員等 （14:00～15:00）
15	初期臨床研修医（研修医・専門医総合教育センターによる研修） 看護師（看護部による研修） その他の職員（職場研修）	初期臨床研修医（研修医・専門医総合教育センターによる研修） 看護師（看護部による研修） その他の職員（職場研修）	初期臨床研修医（研修医・専門医総合教育センターによる研修） 看護師（看護部による研修） その他の職員 【BLS研修】 16:00～ 病棟２階カンファレンスルーム

	院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員必須）
	院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可（新規採用医員優先）
	職種毎の研修になりますので、所属部署の指示に従ってください。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　②．現状
管理責任者氏名	病院長　蒲田 敏文
管理担当者氏名	・消化器内科長　金子　周一 ・リウマチ・膠原病内科長　川野　充弘 ・循環器内科長　高村　雅之 ・血液内科長　宮本　敏浩 ・脳神経内科長　小野　賢二郎 ・小児科長　和田　泰三 ・放射線科長　香田　渉 ・皮膚科長　松下　貴史 ・心臓血管外科長　竹村　博文 ・呼吸器外科長　松本　勲 ・肝胆膵・移植外科長　八木　真太郎 ・小児外科長　酒井　清祥 ・脊椎・脊髄外科長　出村　諭 ・眼科長　杉山　和久 ・産科婦人科長　藤原　浩 ・脳神経外科長　中田　光俊 ・歯科口腔外科長　川尻　秀一 ・救急科長　岡島　正樹 ・薬剤部長　崔　吉道 ・経営管理課長　元谷内　洋志 ・医療支援課長　木下　久美子 ・内分泌・代謝内科長　篁　俊成 ・呼吸器内科長　笠原　寿郎 ・腎臓内科長　坂井　宣彦 ・総合診療科長　野村　英樹 ・神経科精神科長　菊知　充 ・子どものこころの診療科長　菊知　充 ・放射線治療科長　高松　繁行 ・形成外科長　小室　明人 ・胃腸外科長　稲木　紀幸 ・乳腺科長　石川　聡子 ・整形外科長　土屋　弘行 ・泌尿器科長　溝上　敦 ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長　吉崎　智一 ・麻酔科蘇生科長　谷口　巧 ・核医学診療科長　絹谷　清剛 ・リハビリテーション科長　八幡　徹太郎 ・病理診断科長　池田　博子 ・総務課長　東川　純也 ・医事課長　山田　浩美

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	外来病歴ファイルは、１患者１ファイル、入院病歴ファイルは、１入院期間１ファイル。診療録の院外持ち出しは禁止されている。
		各科診療日誌	医事課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事課	
		看護記録	看護部、医事課	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	医事課	
		紹介状	医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	

	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	

			保 管 場 所	管　理　方　法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医療支援課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医療支援課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部　医療支援課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME 機器管理センター、放射線部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医療支援課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	総務課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課	
		監査委員会の設置状況	総務課、医療支援課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医療支援課	
		職員研修の実施状況	医療支援課、総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務部	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　②．現状	
閲　覧　責　任　者　氏　名	病院長　　蒲田 敏文	
閲　覧　担　当　者　氏　名	総務課長　東川　純也	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	

閲覧の手続の概要

諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。

国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。

開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前　年　度　の　総　閲　覧　件　数		延　　0件
閲　覧　者　別	医　　師	延　　0件
	歯　科　医　師	延　　0件
	国	延　　0件
	地 方 公 共 団 体	延　　0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊒・無
・　指針の主な内容： （１）職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め，医療事故防止に積極的に取り組むと同時に，病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み，医療事故等の未然の防止を目指す。 （２）医療安全管理委員会，医療安全管理部，医療安全管理者，リスクマネジャー等による医療安全管理体制を整備し，病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。 （３）医療安全管理のための研修を企画し，病院職員全体が２回以上受講できるようにする。 （４）「医療事故防止マニュアル」の作成，医療事故等の報告事例の検討など，医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。 （５）医療事故が発生した場合にはおいては，「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し，医療上の最善の処置を講ずる。また，患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。 （６）患者との信頼関係を築くため，また開かれた医療を推進するため，情報の開示及び提供に積極的に対応していく。 （７）患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（　㊒・無　） ・　開催状況：年　１２回 ・　活動の主な内容： （１）医療に係る安全管理対策に関すること。 （２）医療事故防止対策に関すること。 （３）発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。 （４）分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。 （５）改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。 （６）患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。 （７）安全管理のための教育及び研修に関すること。 （８）その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。 （９）改善策の実施状況の調査等の目的のため，定期的に関係部署の巡回を行う。	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年　３　回
・　研修の内容（すべて）： すべてE－learningを活用 ・医療機器の安全使用（2020.10.28-2021.3.31） ・医療用麻薬の適正管理について（2020.11.10-2021.3.31） ・当院の医療安全体制（2020.12.14-2021.3.31） その他、新規採用者研修「リスクマネジメントについて」 （４月に開催。その後は随時）	

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（　有・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ○事故報告等の分析結果を現場へフィードバック ○医療従事者の医療事故防止に関する教育 ○事故防止のための基礎知識の提供 ○事故報告書等から必要なマニュアルを作成 ○インシデントサマリに再発防止策を提案 ○事故防止マニュアルの見直し ○GRM等による医療現場のラウンド ○院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布 ○院外の事故情報の提供による注意喚起

(注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： １．院内感染対策に関する基本的な考え方 ２．院内感染対策のための委員会に関する基本的事項 ３．従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 ４．感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ５．院内感染症発生時の対応に関する基本方針 ６．患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ７．抗菌薬の適正使用に関する基本方針 ８．院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回
・　活動の主な内容： 以下の事項を審議する。 （１）院内感染予防の方策及び監視に関すること。 （２）院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること。 （３）院内感染についての教育活動に関すること。 （４）院内感染の調査に関すること。 （５）感染制御部の運営に必要な事項に関すること。 （６）その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項。	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年　４回
・　研修の内容（すべて）： 【令和２年度】 ｅ－ラーニングにより実施した。 「抗菌薬適正使用マニュアルの改訂について」「輸血に伴う感染症」12/17～2/28 「院内における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染管理」「当院におけるCOVID-19 PCR検査」2/10～3/10 「新型コロナウイルスワクチンについて～分かっていること、分かっていないこと～」2/19～3/20 「褥瘡対策に関する講演会」2/26～3/26 【その他】 新規採用者研修（随時開催） 対象別研修（毎年）	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・　病院における発生状況の報告等の整備　　（　(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： （１）院内感染サーベイランスの実施と分析・評価 （２）ICTラウンドによる感染対策実施行動の確認と指導 （３）職業感染防止対策のための計画・実施・改善 （４）感染管理システムを活用した情報共有 （５）感染制御担当者（ICM)による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底	

(注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　１回
・　研修の主な内容： 令和2年度実施 医療安全研修（医薬品安全管理研修　2020年10月-3月 eラーニング形式） ・医療用麻薬の適正使用について	
③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・　手順書の作成　（(有)・無　） ・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容： １）医薬品の採用　２）医薬品情報の収集・管理・提供　３）医薬品の購入管理 ４）外来および入院患者への医薬品の供給　５）病棟における医薬品の管理 ６）入院患者への医薬品使用　７）ハイリスク薬の取り扱い　８）院内製剤の取り扱い ９）外来患者への情報提供と薬学的指導　１０）外来・中央診療施設の薬品管理 １１）放射性医薬品の安全管理・安全使用	
④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医薬品に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 免疫チェックポイント阻害剤投与後の肝障害に対するミコフェノール酸の適応外使用。 患者は免疫チェックポイント阻害薬(ICI)を投与後に肝障害を発症し、肝生検からもICIによる肝障害と診断された。ステロイドパルス療法を実施するも効果は限定的であり、ICI適正使用ガイドラインの肝関連有害事象アルゴリズムに準じてミコフェノール酸(セルセプト)が使用されることとなった。 ・　その他の改善のための方策の主な内容： 未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。 未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書の他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。 医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネジャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。	

(注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年３９回
・　研修の主な内容： 有効性，安全性に関する事項，使用方法，保守点検に関する事項，不具合等が発生した場合の対応，使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 外観チェック，動作チェック，漏れ電流チェック，精度管理、バッテリー性能チェック	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：該当なし ・　その他の改善のための方策の主な内容： 定期点検時の点検項目や方法の見直し	

(注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無
・責任者の資格（医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長（医療安全担当）が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（　６）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品情報管理担当者が PMDA メディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行う。電子カルテシステム内の医薬品情報 web 検索システムや院内業務支援ページより閲覧が可能。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方監査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長（医薬品安全管理責任者）に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料（ガイドラインや文献）をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的にリストアップし薬剤部長に報告している。 ・担当者の指名の有無（(有)・無） ・担当者の所属・職種：別紙のとおり （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　） （所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）	

④　医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	㊒・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　　（　㊒・無　） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：医療安全管理者等による IC 監査を実施した。（年３回） ●主な指導内容： 説明文書・同意書をイメージファイリング化し、電子カルテに保管すること インフォームドコンセントの概要を電子カルテに記録すること	
⑤　診療録等の管理に関する責任者の選任状況	㊒・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームドコンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。（年６回） 主な指導内容：インフォームドコンセント実施時、経過記録への説明内容及び患者の理解度等の記載。検査、手術、麻酔に関する要点の経過記録への記載等	
⑥　医療安全管理部門の設置状況	㊒・無
所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（１２）名 うち医師：専従（１）名、専任（２）名、兼任（４）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１）名 うち看護師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（４）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： （１）　医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。 （２）　医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。 （３）　安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。 （４）　インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。 （５）　リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。 （６）　医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。 （７）　患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。 （８）　医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。	

（９） 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。

（１０）その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。

【モニタリングの具体例】

・入院患者に対する肺血栓塞栓症リスク評価と予防策の実施率

・注射薬投与時の PDA 認証の実施率

・ＲＲＴコール報告

・病理診断レポートの未読/既読状況

・画像診断レポートの未読/既読状況

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（　１件）、及び許可件数（　１件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（　(有)・無　）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（　(有)・無　）

・活動の主な内容：

(1)　高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。

(2)　高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。

(3)　その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　(有)・無　）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（　(有)・無　）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（１８件）、及び許可件数（　１６件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（　(有)・無　）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（　(有)・無　）

・活動の主な内容：

(1)　高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。

(2)　高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。

(3)　その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　有・無　）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（　有・無　）

⑨　入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年２１３　件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年６４件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

（１）医療に係る安全管理対策に関すること。
（２）医療事故防止対策に関すること。
（３）発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。
（４）分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。
（５）改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。
（６）患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。
（７）安全管理のための教育及び研修に関すること。
（８）その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。
（９）改善策の実施状況の調査等の目的のため，定期的に関係部署の巡回を行う。

⑩　他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（　有（病院名：福井大学附属病院　　）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（　有（病院名：富山大学附属病院　　）・無）

・技術的助言の実施状況

技術的助言は特になかった。

⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室、地域医療連携室、がん相談支援センターにおいてGRM、ソーシャルワーカー、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内にポスターを掲示しパンフレットを配置するとともに、金沢大学附属病院 Web サイトに掲載している。

⑫　職員研修の実施状況
・研修の実施状況 当院の医療安全体制」（参加者数限定で開催。e-learningでも開催　2020.12.14-2021.3.31） 【項目】医療安全管理責任者の配置、患者への説明/インフォームドコンセント、院内死亡報告、手術におけるマーキングルール、RRS、アナフィラキシーの予防と発症時の対応について、インシデントレポート医療事故発生時の緊急連絡体制、行動制限ガイドライン

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況 公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、現在、最終結果待ち （R3.3.3～3.5 訪問審査受審） ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況 評価結果受領後、公表予定 ・評価を踏まえ講じた措置 評価結果受領後、対応予定

（注）記載時点の状況を記載すること

13. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保

⑲医療法施行規則第9条の23第1項第3号に規定する事項

医薬品安全管理責任者が指名した担当者

氏　名	職　名	担　当
山本奈歩	薬剤師	医薬品情報管理担当者
原　祐輔	薬剤師	調剤担当
坪内　清貴	薬剤師	調剤担当
田中　祐子	薬剤師	調剤担当
長田　幸恵	薬剤師	調剤担当
橋本　さつき	薬剤師	調剤担当
板井　進悟	薬剤師	調剤担当
矢口　邦子	薬剤師	調剤担当
辻　千明	薬剤師	調剤担当
磯田　和也	薬剤師	調剤担当
磯田　紗也加	薬剤師	調剤担当
三坂　恒	薬剤師	調剤担当
志村　裕介	薬剤師	調剤担当
加藤彩香	薬剤師	調剤担当
中村　良恵	薬剤師	調剤担当
山﨑　京介	薬剤師	調剤担当
酒井　佳奈	薬剤師	調剤担当
野田　佳加	薬剤師	調剤担当
西澤　理愛	薬剤師	調剤担当
スタッブ　由紀子	薬剤師	調剤担当
木山　美佳	薬剤師	調剤担当
二木　悠哉	薬剤師	調剤担当
谷島　優	薬剤師	調剤担当
居林　優輝	薬剤師	調剤担当
鈴木　拓也	薬剤師	調剤担当
寺田　早苗	薬剤師	調剤担当
北間　基子	薬剤師	調剤担当

坂田　明子	薬剤師	病棟担当
浅井　泰詞	薬剤師	病棟担当
髙林　真貴子	薬剤師	病棟担当
中川　祐紀子	薬剤師	病棟担当
吉田　幸司	薬剤師	病棟担当
大西　あゆみ	薬剤師	病棟担当
島田　拓弥	薬剤師	病棟担当
毛利　香菜	薬剤師	病棟担当
木村　円	薬剤師	病棟担当
伊藤　ゆり子	薬剤師	病棟担当
東　昴翔	薬剤師	病棟担当
水野　ふみ	薬剤師	病棟担当
西上　真	薬剤師	病棟担当
堀　祐貴	薬剤師	病棟担当
岡野　麻衣	薬剤師	病棟担当
岡本　綾菜	薬剤師	病棟担当
小竹　萌子	薬剤師	病棟担当
毛利　真子	薬剤師	病棟担当
金　俊孝	薬剤師	病棟担当

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・基準の主な内容 (1) 人格が高潔で、学識が優れている者 (2) 医師免許を有している者 (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 高度かつ先進的な医療を提供する特定機能病院の管理者として、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有するとともに次に掲げるいずれかの業務に従事した経験を有する者 ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者又は医療機器安全管理責任者の業務 ② 医療安全管理委員会の構成員としての業務 ③ 医療安全管理部門における業務 ④ その他病院全体に係る上記に準ずる業務 (4) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 病院の管理運営にあたり、金沢大学附属病院又は金沢大学附属病院以外での組織管理経験があり、病院職員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な外的変化に適切に対応し、強いリーダーシップを発揮できる者 (5) 金沢大学附属病院の基本理念及び基本方針を確実に遂行できる者 ・基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトに掲載

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
・選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・公表の方法	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無

				有・無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	㊒・無

・合議体の主要な審議内容
(1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項
(2) 規程の制定又は改廃に関する事項
(3) 予算及び執行並びに決算に関する事項
(4) 自ら行う点検及び評価に関する事項
(5) その他管理運営に関する重要事項

・審議の概要の従業者への周知状況
病院長が医局長会議（運営会議委員以外の全関係部署の代表者が出席）において、病院運営会議の内容を説明・報告し、運営会議委員又は医局長会議委員が各部署で周知している。
会議資料は、金沢大学の教職員専用の会議資料管理システムで管理しており、関係者は常時閲覧可能となっている。また，運営会議の議事概要は，金沢大学附属病院業務支援Webシステムに掲載している。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ㊒・無 ）

・公表の方法
金沢大学附属病院Webサイトに掲載

・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・�無 ）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（○を付す）	職種	役職
蒲田　敏文	○	医師	附属病院長、検査部長、金大病院 CPD センター長
金子　周一		医師	消化器内科長、肝臓センター長、疾病予防センター長
篁　　俊成		医師	内分泌・代謝内科長、糖尿病センター長、内分泌センター長
川野　充弘		医師	リウマチ・膠原病内科長
笠原　寿郎		医師	呼吸器内科長
高村　雅之		医師	循環器内科長、冠動脈疾患治療部長、ハートセンター長
坂井　宣彦		医師	腎臓内科長、血液浄化療法部長
宮本　敏浩		医師	血液内科長、造血細胞移植センター長
野村　英樹		医師	総合診療科長、総合診療部長
菊知　充		医師	神経科精神科長、子どものこころの診療科長

和田　泰三		医師	小児科長、周産母子センター長
香田　渉		医師	病院長補佐、放射線科長
髙松　繁行		医師	放射線治療科長
松下　貴史		医師	皮膚科長
小室　明人		医師	形成外科長
竹村　博文		医師	副病院長、心臓血管外科長、ＭＥ機器管理センター長
松本　勲		医師	呼吸器外科長、材料部長
稲木　紀幸		医師	胃腸外科長
八木　真太郎		医師	肝胆膵・移植外科長
石川　聡子		医師	乳腺外科長
酒井　清祥		医師	小児外科長
土屋　弘行		医師	副病院長、整形外科長
出村　諭		医師	脊椎・脊髄外科長
溝上　敦		医師	泌尿器科長
杉山　和久		医師	眼科長
吉崎　智一		医師	副病院長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科長、研修医・専門医総合教育センター長
藤原　浩		医師	産科婦人科長
谷口　巧		医師	麻酔科蘇生科長、手術部長、集中治療部長、麻酔部長
中田　光俊		医師	脳神経外科長
絹谷　清剛		医師	副病院長、核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻　秀一		歯科医師	歯科口腔外科長
八幡　徹太郎		医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
矢野　聖二		医師	副病院長、がんセンター長
岡島　正樹		医師	救急科長、救急部長
池田　博子		医師	病理診断科長、病理部長
小林　聡		医師	放射線部長
山﨑　宏人		医師	輸血部長
朝倉　英策		医師	高密度無菌治療部長
二宮　致		医師	光学医療診療部長
渡邉　淳		医師	遺伝診療部長
谷内江　昭宏		医師	副病院長、医療安全管理部長
加畑　多文		医師	地域医療連携室長
岩田　恭宜		医師	感染制御部長
田島　秀浩		医師	栄養管理部長
北村　和哉		医師	炎症性腸疾患センター長
大坪　公士郎		医師	外来化学療法センター長
島上　哲朗		医師	地域医療教育センター長
村山　敏典		医師	病院長補佐、先端医療開発センター長、臨床開発部長
山田　圭輔		医師	緩和ケアセンター長
川島　博子		医師	乳腺センター長
崔　吉道		薬剤師	病院長補佐、薬剤部長
渡邊　真紀		看護師	副病院長、看護部長
長瀬　啓介		医師	病院長補佐、経営企画部長
竹山　富士男		事務職員	病院長補佐、病院部長

松浦　幸広		放射線技師	放射線部技師長
村田　明		医師	ハートセンター　特任教授

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）

・公表の方法
　　金沢大学附属病院Webサイトに掲載

・規程の主な内容
【金沢大学附属病院規程第３条～第４条】
・病院長は本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。
・病院長の任務は次のとおりとする。
(1)　本院の運営、管理及び経営に関すること。
(2)　診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。
(3)　診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。
(4)　病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。
(5)　病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。
(6)　予算の院内配分に関すること。

・管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
【金沢大学附属病院規程第５条】
・副病院長７名（病院長の職務を補佐）
医療安全／広報・地域医療連携／診療／総務・人事／臨床教育／研究／看護をそれぞれ担当
【金沢大学附属病院規程第５条の２】
・病院長補佐７名（病院長の指示する重要事項について病院長を補佐）
診療／臨床研究開発／経営企画・医療情報／薬剤／院長業務補佐／事務／特命事項をそれぞれ担当

・病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
・副病院長は、運営会議の構成員のうちから病院長が指名し、学長が任命する。
・病院長補佐は、病院長が任命する。
・科長は、附属病院若しくは医学系の教授、准教授、講師又は助教で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授、准教授又は講師で病院長が認める者をもって充てる。
・部長等は、附属病院若しくは医学系の教授で診療に従事する者又は附属病院に兼務する金沢大学の教授で病院長が認める者をもって充てる。ただし、やむを得ないときは、准教授、講師又は助教をもって充てることができる。
・事務系職員の一部について、大学事務職員とは別枠で医事系の専門資格を有する事務職員の採用試験を行っている。
・国立大学附属病院長会議が実施する「病院長塾」や「病院経営次世代リーダー養成塾」に副病院長らが参加しているほか、同会議が実施する国立大学病院事務専門研修や国立大学附属病院経営分析ワークショップ等に職員を参加させ、人材育成を図っている。
・日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に病院長、副病院長及び病院長補佐が参加している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	㊒・無

・監査委員会の開催状況：年　２回

・活動の主な内容：

（１）　医療安全管理責任者，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。

（２）　必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。

（３）　前２号に掲げる業務について，その結果を公表すること。

（４）その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（　㊒・無　）

・委員名簿の公表の有無（　㊒・無　）

・委員の選定理由の公表の有無（　㊒・無　）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（　㊒・無　）

・公表の方法：

金沢大学附属病院 Web サイトに掲載している

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
伊藤　透	金沢医科大学		医療の質・安全推進部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・㊥	1
麻生　小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・㊥	1
和田　真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動し、医療を受ける立場から意見を述べるこ	有・㊥	2

			とができるため		

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1．医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2．医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3．その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 　金沢大学法人監査室を設置し，附属病院を含めた学内全体の内部監査（業務監査及び会計監査）を毎年度実施。 ・専門部署の設置の有無（　有・無　） ・内部規程の整備の有無（　有・無　） ・内部規程の公表の有無（　有・無　） ・公表の方法 　金沢大学附属病院Webサイトに掲載

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
　金沢大学経営協議会において、法人の経営に関する重要事項、予算の作成・執行及び決算に関する事項、組織及び運営の状況に係る自己点検・評価に関する事項等を審議している。

・会議体の実施状況（　年７回（令和２年度実績））

・会議体への管理者の参画の有無および回数（　(有)・無　）（　年６回（令和２年度実績））

・会議体に係る内部規程の公表の有無（　(有)・無　）

・公表の方法
　金沢大学附属病院Ｗｅｂサイトに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人金沢大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（○を付す）	利害関係
山崎　光悦	金沢大学学長	○	有・(無)
大竹　茂樹	金沢大学理事・副学長		有・(無)
和田　隆志	金沢大学理事・副学長		有・(無)
大西　啓介	金沢大学理事・副学長		有・(無)
村井　淳志	金沢大学人間社会研究域長		有・(無)
森本　章治	金沢大学理工研究域長		有・(無)
中村　裕之	金沢大学医薬保健研究域長		有・(無)
蒲田　敏文	金沢大学附属病院長		(有)・無
有松　育子	元 国立教育政策研究所所長 元 文部科学省生涯学習政策局長		有・(無)
大橋　徹二	コマツ代表取締役会長		有・(無)
河田　悌一	関西大学東京センター長 一般社団法人大学資産共同運用機構理事長		有・(無)
後藤　ひとみ	愛知教育大学特別教授		有・(無)
中西　吉明	石川県副知事		有・(無)
原田　明久	ファイザー株式会社代表取締役社長		有・(無)
村山　卓	金沢市副市長		有・(無)

矢部　彰	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センターフェロー		有・(無)
山内　雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長		有・(無)
渡辺　芳人	国立大学法人総合研究大学院大学理事		有・(無)

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（　有・無　） ・通報件数（年　0　件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（　有・無　） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（　有・無　） ・周知の方法 職員宛てメールにて周知している。 医療安全研修の中で案内している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	㊒・無
・情報発信の方法、内容等の概要 金沢大学附属病院Webサイトにて情報発信を行っている。	

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	㊒・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム ・高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム ・悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとしての緩和ケアチーム ・褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図る褥瘡対策チーム ・院内感染に対する体制としての院内感染制御チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST） ・倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う臨床倫理コンサルティングチーム これらに加え、２０２１年には、外科、内科、放射線科、腫瘍内科、病理医など各領域の専門家が集まり「膵がん診療ユニット」を結成し、膵癌患者さん一人一人に対して、質の高い画像・病理診断に基づき、手術のみならず、化学療法や放射線も組み合わせた最適な治療を目指して検討している。	